

管理栄養学科 シラバス目次

1年後期

配当年次	ページ数	科目名	ナンバリング
1年後期	20	心理学	CC201
1年後期	30	経済学	CS201
1年後期	38	化学実験	CN201
1年後期	42	有機化学	CN202
1年通年	52	情報処理演習 I	CI101
1年～4年	66	スポーツ・リクリエーション	CH103
1年後期	70	英語 II	CL201
1年後期	82	フランス語 II	CL202
1年後期	90	中国語 II	CL203
1年後期	100	公衆衛生学 I	NU201
1年後期	106	栄養生化学 I	NM201
1年後期	126	食品学総論 I	NF201
1年後期	146	調理学実習 II	NF211
1年後期	150	調理学実験	NF213
1年後期	152	基礎栄養学 I	ND201
1年後期	174	栄養教育論 I	NE201
1年後期	240	教育原論	EF201
1年後期	242	教職概論	EF202

心理学

(2単位) (管理栄養学科・食品学科)

開講時期 1年・後期
担当者氏名 西脇 喜恵子

◆授業概要

心理学は生活に密着する生き生きとした学問であるという視点から、本講義での学びを、キャリア形成や将来の仕事をはじめ、社会生活全般に活用できるようにすることを目標とする。授業では、主に心理学の基礎的な概念や社会への貢献、「こころ」への多様なアプローチなどについて講義する。同時に、講義の内容を身近な事柄に関連させながら、小グループでの討議や発表を行う。

こうした学びを通して、ディプロマポリシーに示す「大学で学んだこと・身につけたことを実社会で形にして表現できる応用力としての技術と技能を身につけている」の達成も目指す。

◆到達目標

1. 心の仕組みと、それを説明する用語や諸理論を理解できる。
2. 対人関係や社会集団における心の働きとその特徴を理解できる。
3. 心理支援やその技法を説明できる。
4. 心理学的知見をもとに全人的に学ぶ重要性を理解できる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習(標準的な所要時間)
1	ガイダンスとイントロダクション	本講義の目的、受講上の留意点、心理学を学ぶ意義などについて説明する	予習 シラバスを確認し、教科書序章を熟読する(30分)
			復習 疑問点や心理学に関する関心事を整理しておく(30分)
2	対人援助に役立つ心理学(1)	対人援助における心理学的アプローチと活動実践を学ぶ(教科書P1~8、P21~29)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する(30分)
			復習 心理に関する支援の対象範囲と諸活動をまとめる(30分)
3	対人援助に役立つ心理学(2)	心理学的アプローチによる対人援助方法やその特徴を学ぶ(教科書P33~46)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する(30分)
			復習 カウンセリングや心理療法をはじめとする心理学的対人援助方法をまとめる(30分)※次回授業の発表者は発表原稿をまとめる(60分)
4	心理学から読み解く(1)「人はどう発達するか(1)」	新生児期から乳児期までの心の発達を学ぶ(教科書P91~104)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する(30分)
			復習 発達に関する理論をもとに発達段階に応じた特徴や課題をまとめる(30分)※次回授業の発表者は発表原稿をまとめる(60分)
5	心理学から読み解く(2)「人はどう発達するか(2)」	幼児期から老年期までの心の発達を学ぶ(教科書P104~126)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する(30分)
			復習 発達に関する理論をもとに発達段階に応じた特徴や課題をまとめる(30分)※次回授業の発表者は発表原稿をまとめる(60分)
6	心理学から読み解く(3)「性格とは何か」	性格形成の要因や種類に関する考え方を学ぶ(教科書P47~65)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する(30分)
			復習 性格とその形成や発達に関する考え方や理論をまとめる(30分)※次回授業の発表者は発表原稿をまとめる(60分)
7	心理学から読み解く(4)「性格は測れるか」	性格を測定できるとされる心理検査の種類や特徴を学ぶ(教科書P139~146)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する(30分)
			復習 心理検査の種類と特徴をまとめる(30分)※次回授業の発表者は発表原稿をまとめる(60分)
8	心理学から読み解く(5)「身近な人や社会との関係」	対人関係や社会的行動、コミュニケーションを学ぶ(教科書P69~77)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する(30分)
			復習 適応に必要な社会的行動やコミュニケーションについてまとめる(30分)※次回授業の発表者は発表原稿をまとめる(60分)
9	心理学から読み解く(6)「こころの不思議—好きになる・助ける・傷つける」	対人関係や集団における心の働きを学ぶ(教科書P77~90)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する(30分)
			復習 社会や集団における心の機能や群集心理についてまとめる(30分)※次回授業の発表者は発表原稿をまとめる(60分)
10	心理学から読み解く(7)「世界のとらえ方」	知覚や認知のしくみを学ぶ(教科書P149~158)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する(30分)
			復習 人が環境をどのように知覚し認知するのかをまとめる(30分)※次回授業の発表者は発表原稿をまとめる(60分)

11	心理学から読み解く (8) 「記憶とは何か」	記憶の種類やしくみを学ぶ (教科書P158~165)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する (30分)
			復習 人の記憶がどのようなしくみになっているのかをまとめる (30分) ※次回授業の発表者は発表原稿をまとめる (60分)
12	心理学から読み解く (9) 「行動とは何か・学習とは何か」	条件付けをはじめとする学習される行動を学ぶ (教科書P167~190)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する (30分)
			復習 条件づけの理論と行動がどのように学習されるかをまとめる (30分) ※次回授業の発表者は発表原稿をまとめる (60分)
13	心理学の研究法	心理学的データをとるための研究方法を学ぶ (教科書P213~229)	予習 授業に関連する範囲の教科書を熟読する (30分)
			復習 心理学の研究方法の種類と内容、特徴をまとめる (30分)
14	テーマ別ディスカッション	講義の中で取り上げたトピックの中から関心のある一つを選び、班ごとにディスカッションし、発表資料にまとめる	予習 13回までの講義資料を復習し関心のあるトピック一つを選ぶ (60分)
			復習 ディスカッションの内容をまとめる (60分)
15	プレゼンテーションとまとめ	各班による発表と全体のまとめを行い講義内容の定着を図る	予習 発表のリハーサルをしておく (60分)
			復習 講義全体を復習する (120分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
心理学・入門 心理学はこんなに面白い 改訂版	サトウタツヤ・渡邊芳之	有斐閣アルマ

◆参考書

書名	著者	発行所

<補足>参考書は教科書P240~P245のブックガイドを参照のこと

◆関連科目

リテラシー、自己表現法、栄養教育論、臨床栄養カウンセリング

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	40		
振り返り課題	30		
学習に取り組む姿勢・意欲	30		

◆課題 (試験やレポート等) のフィードバックの方法

定期試験は求めがあれば結果を開示する。毎授業のはじめに、前回授業のまとめや振り返り課題の確認を行う。

◆受講上の注意事項及び助言

30分以上の早退や遅刻は欠席とする。全授業の出席が2/3以上の場合、定期試験の受験資格が得られる。授業の妨げになる行為 (私語やスマホ視聴など) は厳に慎むこと。

◆オフィスアワー

受付時間: 授業時間終了後

受付場所: 教室

上記で対応できない場合: あらかじめメールでご相談ください

経済学 (2単位) (管理栄養学科・食品学科)

開講時期 1年・後期

担当者氏名 菊島 良介

◆授業概要

現代の食と農は大きな曲がり角に直面している。これからの行く末を見通すために、食と農、そしてそれらを支える社会的枠組みの現状と課題をフードシステム概念を通して学ぶ。

本講義はフードシステムを素材としてミクロ経済学や産業組織論のエッセンスを伝えることで、社会科学の思考方法に親しむ機会を提供する。

◆到達目標

1. 食生活の変化、食をめぐる産業、社会的に必要とされる制度の実態と背景を社会科学的視点、特に経済学的視点（主にミクロ経済学、産業組織論）に基づいて、理解して考察できる思考方法と知識を身に付ける。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習 (標準的な所要時間)
1	授業ガイダンス	講義の進め方、学習方法、評価方法について説明する。	予習 シラバスに目を通し、経済学とはどんな学問かを自分で考える (30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
2	経済学とは何か	経済学の学術的な位置づけ (周辺領域との関係など) や重要性について解説する。余剰分析について触れる	予習 教科書①Introductionを予習しておく。(30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
3	食料選択の経済理論	消費者の選択行動の理論をはじめ、食料消費の把握に有効なミクロ経済学の理論を紹介する。	予習 教科書①Chapter1を予習しておく。(30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
4	食生活の成熟	食料消費が発展して成熟段階にあるが、食生活の成熟化とは何かについて説明する。	予習 教科書①Chapter2を予習しておく。(30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
5	食料消費パターンの変化	食料消費構造の質的な変化を、飲食費目の変化や消費する食品の量の変化から検討する。	予習 教科書①Chapter3を予習しておく。(30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
6	家族の変化と食生活	食料消費構造の変化を食生活の変化という観点から検討する。女性の社会進出や家族の小規模化にも注目する。	予習 教科書①Chapter4を予習しておく。(30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
7	食料の安全保障と自給率	食料自給率から我が国の食と農を読み解く。	予習 教科書①Chapter5を予習しておく。(30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
8	日本農業の強みと弱み	我が国の農業の強みや弱み、解決に向けた取り組みを紹介する。	予習 可能であれば参考書②に目を通しておく (30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
9	食品企業の行動理論	企業や産業の組織構造やそれ関わる企業行動の把握に有効な経済理論を紹介する。	予習 配布資料に目を通しておく
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
10	食品工業の構造	限られた需要をめぐる熾烈な新製品の開発や大規模な広告宣伝が行われる背景を経済学的に説明する。	予習 教科書①Chapter6を予習しておく。(30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
11	食品流通業の革新	現在、流通業が食品工業の生産をリードしているが、そこに至るまでの流通の変化と消費者にもたらされたものを説明する。	予習 教科書①Chapter7を予習しておく。(30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
12	製品差別化	製品差別化について経済学、マーケティングの観点から理解する。知覚マップを利用して、商品のポジショニングを行う	予習 配布資料に目を通しておく (30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)
13	新商品開発	製品開発の概念について理解する。具体的な商品開発事例も紹介する	予習 配布資料に目を通しておく (30分)
			復習 講義内容の整理/課題に取り組む (60分)

14	食生活と政府の役割	消費者の最大の関心事項である食の安全、信頼問題を取り上げてその問題と対策について考察する。	予習 教科書①Chapter10を予習しておく。(30分) 復習 講義内容の整理/課題に取り組む(60分)
15	まとめ	講義全体を振り返り、改めて経済学の必要性を考える。講義の内容の中で十分に理解できなかった事柄について質問があれば、それに答える時間としたい。	予習 これまでの講義内容を振り返り、理解不足の点を探る(30分) 復習 定期試験の準備をする(60分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
フードシステムの経済学 6版	時子山ひろみ・荏開津典生・中嶋康博	医歯薬出版株式会社

◆参考書

書名	著者	発行所
食の安全と安心の経済学	中嶋康博	コープ出版
新版 農業がわかると社会のしくみが見えてくる 高校生からの食と農の経済学入門	生源寺眞一	家の光協会
現代マーケティング論	高橋克義・桑原秀史	有斐閣

◆関連科目

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	50	小テスト	
レポート	20	実技(発表・コミュニケーション)	
学習に取り組む姿勢・意欲	30		

◆課題(試験やレポート等)のフィードバックの方法

1. 毎回Googleフォームで課題を課し、課題への解答やコメント(疑問点や感想)を求める。その内容から学習に取り組む姿勢意欲を評価する。疑問点に関しては可能な範囲で次回講義時にリプライする。
2. レポート、定期試験に関しては採点し、採点後の答案を各自返却する。

◆受講上の注意事項及び助言

- *教科書に基づいて、多少発展的な内容を加えて紹介していく。
- *配布資料はあくまで補足であるため、講義をしっかりと聞き必要に応じて自分でノートをとること。
- *予習も大切だが、復習を重視してほしい。講義中にノートテイクしたプリントを読み返すこと。
- *新聞・雑誌等の食料関連の記事を読み、個々のテーマに関して自分なりの考察を進めること。

◆オフィスアワー

受付時間: 授業終了時

受付場所: 学務課

上記で対応できない場合: メールでの対応 rk207434@nodai.ac.jp

化学実験 (1単位) (管理栄養学科)

開講時期 1年・後期
 担当者氏名 鈴木 等

◆授業概要

化学系実験実習を学ぶ際の基礎とするために、簡単な化学実験を通して基本的な実験器具や機器の取り扱いと実験データの処理法について紹介する。また、化学薬品と廃液の取り扱いと化学系のレポート作成に関しても、具体的な実験を通して学ぶ。各回の実験の操作方法については、化学実験テキストを配布するので、それに基づいて進めていく。

◆到達目標

1. 化学入門、化学の講義などで得た基礎的な知識を実際の実験操作を通してより確実にすることができる。
2. 化学物質を取り扱うための技術、同時に化学実験で用いる器具についての正しい使用法を習得できる。
3. 化学実験を進めるうえで要求される観察力、思考力を養い、実験データの読み取り方を習得できる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習(標準的な所要時間)
1	実験器具の基本操作法	実験指針、実験上の注意、器具の洗浄、実験ノート・レポートの書き方について説明する。	予習 教科書 p1~5、実験の注意事項を確認する(30分) 復習 実験ノート・レポートの書き方を確認する。(30分)
2	pHの測定	各種試料のpHを測定する。 pH測定法を学ぶ。	予習 化学実験テキスト p10~11を読む。(30分) 復習 pHの測定のレポートを作成する。(90分)
3	天秤の取り扱い方と試薬の調製	標準液の調整と測容器具の取り扱い方を学ぶ。	予習 化学実験テキスト p8~13 と教科書 p20~25を読む(45分) 復習 標準液のファクターの計算方法を見直す(60分)
4	NaOH水溶液の濃度標定	水酸化ナトリウム水溶液の濃度標定および滴定操作の習得	予習 化学実験テキスト p14~15 と教科書 p57を読む(45分) 復習 水酸化ナトリウムの性質を調べ、NaOH濃度標定のレポートを作成する(90分)
5	中和滴定① 強酸と強塩基	硫酸の濃度標定	予習 化学実験テキスト p16を読む。硫酸の危険性を確認する(30分) 復習 中和滴定①のレポートを作成する(90分)
6	中和滴定② 弱酸と強塩基	市販食酢の主成分である酢酸の定量を行う。	予習 化学実験テキスト p17 と教科書 p56を読む。食酢の酢酸量を調べる(45分) 復習 指示薬の選択方法を確認する。中和滴定②のレポートを作成する(90分)
7	酸化還元滴定	過マンガン酸カリウム溶液を用いて、オキシドールの定量を行う。	予習 化学実験テキスト p18~20 と教科書 p72~75を読み、酸化剤と還元剤を確認する(45分) 復習 酸化還元滴定のレポートを作成する(90分)
8	キレート滴定	エチレンジアミン四酢酸(EDTA)と EBT 試薬を用いてマグネシウムイオンの定量を行う。	予習 化学実験テキスト p22~23 と教科書 p67~68を読む(45分) 復習 EDTA と EBT のキレート形成能の違いを注目し、キレート滴定のレポートを作成する(90分)
9	重量分析 結晶水の定量 ガラス細工	結晶水の重量分析の基本概念と操作を習得する。ガラス細工	予習 化学実験テキスト p24を読む。結晶水について調べる(45分) 復習 重量分析法の操作方法、実験結果からの計算方法を確認し、レポートを作成する(90分)
10	陽イオンの分類(無機定性分析)	金属イオンの定性分析を行う。 沈殿、ろ過、加熱などの基本的実験操作を習得する。	予習 化学実験テキスト p25 と教科書 p40を読む(30分) 復習 I族からVI族に分類される陽イオンを確認しレポートを作成する(90分)
11	ペーパークロマトグラフィー	アミノ酸の分離、同定を行う。 クロマトグラフィーの原理を理解する。	予習 化学実験テキスト p28~29 と教科書 p.137~138を読む(45分) 復習 Rf 値の計算方法を確認し、同定したアミノ酸についてレポートを作成する(90分)。

12	薄層クロマトグラフィー	アミノ酸の分離、同定を行う。	予習 化学実験テキスト p26~27 と教科書 p141~144 を読む (45分) 復習 親和性の違いによる分離を理解し、薄層クロマトグラフィーのレポートを作成する (90分)
13	カラムクロマトグラフィー	カラムに充填剤を詰め、植物性色素の分離、同定を行う。	予習 化学実験テキスト p30~31 と教科書 p137~138 を読む (45分) 復習 選択的吸着による成分の分離を理解し、カラムクロマトグラフィーのレポートを作成する (90分)
14	比色分析	活性炭のメチレンブルー吸着量を測定する。	予習 化学実験テキスト p32~33 と教科書 p123~125 を読む (45分) 復習 検量線が書け、検量線が使えるようにする。比色分析のレポートを作成する (90分)
15	まとめ	実験の総括	予習 今までの実験項目を確認する (45分) 復習 講義した重要項目をまとめる (90分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
生命科学のための化学実験	高橋和義 他 編著	東京教学社

授業内容を化学実験テキストにして配布し、それを使用する。

◆参考書

書名	著者	発行所
新課程 視覚でとらえるフォトサイエンス 化学図録	数研出版編集部	数研出版
実験プライマリーガイド	倉沢新一 他	化学同人
はじめての化学実験	西山 隆造 安楽 豊満	オーム社

◆関連科目

化学、食品学実験

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	50	小テスト	
レポート	30	実技 (発表・コミュニケーション)	
学習に取り組む姿勢・意欲	20		

(補足) レポートを出すことで実験は完結する。従って、レポートが未提出の場合は、再履修となる。(再提出の指示があるのに未提出の場合を含む) 学習に取り組む姿勢・意欲は、班員と協力しながら積極的に実験を行っていることに加え、実験準備、後片付けや清掃も実験の一部で有る為、評価に加味する。また、ノートを提出してもらい記録してある実験データを点検し評価に加える。

◆課題 (試験やレポート等) のフィードバックの方法

レポートは、添削し翌週以降に返却、授業内で総評を述べる。

◆受講上の注意事項及び助言

基本的な実験技術の習得が目標の一つになっているので、欠席・遅刻しないこと。提出するレポートは、誤字・脱字がなく、指定された書式で書くこと。不正レポート (データの改ざんあるいは他のグループのデータやインターネット上の考察を使用)、コピーを含むレポートの場合は、再提出を指示する。

◆オフィスアワー

受付時間： 実験終了後～17:00

受付場所： 実験室または1号館3階 理化学研究室

上記で対応できない場合： 電子メールで質問を受け付けます。

有機化学 (2単位) (管理栄養学科)

開講時期 1年・後期
 担当者氏名 鈴木 等 星野 浩子

◆授業概要

有機化学は、有機化合物の構造や性質および反応を知るための学問である。有機化合物は、体の構成要素やエネルギー源としてばかりでなく体の働きを制御しあるいはさまざまな材料の構成要素として、まさに人類の衣食住に密接にかかわる重要かつ不可欠な物質である。

授業では、基礎的かつ知っておかねばならない有機化合物の構造・性質・反応について解説する。必修科目であるので、理解度を確保するために随時、練習問題を課す。練習問題や小テストでわからないところを十分復習すること。小テストと定期試験の結果から成績を評価する。

◆到達目標

1. 有機化学の基礎知識を身につけ、演習課題に対し活用することができる。
2. 有機化合物の名称、化学式および構造式を書くことができる。
3. 有機化合物の構造と性質および化学反応を説明できる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習 (標準的な所要時間)
1	有機化合物の定義	有機化合物の構成元素と特徴	予習 有機化合物の定義を調べる (30分)
			復習 物質としての有機化合物の特徴を理解する (90分)
2	有機化合物の分類	様々な有機化合物の分類と構造	予習 有機化合物の分類について調べる (30分)
			復習 有機化合物の構造による分類を理解する (90分)
3	構造の決定と表示法	元素分析、組成式、分子式、示性式、構造式	予習 元素分析について調べる (50分)
			復習 代表的な有機化合物を示性式、構造式で書けるようにする (90分)
4	有機化合物の命名法	構造と名称 (IUPAC名と慣用名) 構造式の書き方、読み方	予習 飽和と不飽和の違いを調べる (30分)
			復習 代表的な脂肪族飽和・不飽和炭化水素の構造式の書き方、読み方を覚える (120分)
5	官能基	官能基の種類と特性	予習 官能基について調べる (30分)
			復習 官能基の構造式と名称を覚える (120分)
6	アルカン・構造異性体	アルカン・構造異性体の性質と特徴 ハロゲン化アルキル	予習 脂肪族の飽和炭化水素と不飽和炭化水素の違いを調べる (30分)
			復習 C ₁ ~C ₁₀ までのアルカンの組織名を覚える (120分)
7	アルケン・アルキン シス・トランス異性体	アルケンの構造 (σ結合、π結合) と性質、 シス・トランス異性体の特性	予習 炭素二重結合の性質を調べる (30分)
			復習 シス、トランス異性体の構造式を書けるようにする (60分)
8	シクロアルカン シクロアルケン	シクロアルカン・シクロアルケンの構造と 性質	予習 炭素の環状構造がある物質を調べる (30分)
			復習 化学構造とその性質を覚える (60分)
9	アルコール・エーテル	アルコール・エーテルの構造と性質および反応	予習 エーテル結合がある物質の構造式を調べる (30分)
			復習 構造の違いによる沸点や溶解性などの性質との関係を理解する (120分)
10	アルデヒド・ケトン	アルデヒド・ケトンの構造と性質および反応	予習 ホルミル基 (アルデヒド基)・カルボニル基 (ケトン基) の構造を調べる (30分)
			復習 アルデヒド・ケトンの性質や反応を理解する (120分)
11	カルボン酸	カルボン酸の構造と分類および反応、 鏡像異性体 (光学異性体)	予習 カルボキシ基の性質を調べる (30分)
			復習 脂肪酸の性質と反応を理解する (120分)
12	エステルと油脂	天然での存在と利用、エステル化、けん化	予習 油脂の構造式を調べる (30分)
			復習 エステル化とけん化反応、セッケンの生成を理解する (120分)
13	芳香族化合物	ベンゼンとその誘導体の特徴	予習 芳香族化合物の定義を調べる (30分)
			復習 ベンゼンの構造と性質、その反応と誘導体の生成を理解する (120分)

14	アミン	アミノ基をもつ化合物の性質と反応	予習 アミンの定義を調べる (30分)
			復習 アミンの構造と性質、その反応と誘導体を確認する (60分)
15	まとめ	総括	予習 1回～14回の授業の分からないところをチェックする (30分)
			復習 すべての授業の内容をノートにまとめて見ましょう (120分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
栄養科学イラストレット 有機化学	山田恭正 編	羊土社

授業内容をプリントにして配布し、それをテキストとして使用する。

◆参考書

書名	著者	発行所
高等学校理科用教科書 化学	辰巳 敬 他	数研出版
生命化学・食品学・栄養学を学ぶための 有機化学 基礎の基礎 第3版	立屋敷 哲	丸善出版
食と栄養を学ぶための化学	有井 康博・川畑 球一・升井 洋至・吉岡 泰淳	化学同人
新・物質科学ライブラリ 4 基礎 有機化学 新訂版	大須賀 篤弘・東田 卓	サイエンス社

◆関連科目

化学、化学入門

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	80	小テスト	20
レポート		実技 (発表・コミュニケーション)	
学習に取り組む姿勢・意欲			

(補足) 成績は定期試験と小テストの結果により評価する。

分からないところや小テストの間違えたところはよく調べ、質問し、復習して十分理解しておくこと。

◆課題 (試験やレポート等) のフィードバックの方法

小テストは採点した答案を授業内で返却し解説を行う。

◆受講上の注意事項及び助言

1年生で履修する有機化学の内容が本学では、あらかじめ必要な基礎知識になります。この科目は大学で初めて学ぶ有機化学、いわゆる“有機化学の入門”であり、ここで学ぶ内容が食品学、生化学や栄養学など今後の学習に役立ちます。暗記事項は多いものの、構造式は視覚的に捉えたり、物質の性質は官能基のグループごとに覚えたりなど体系的に整理しながら学んでいきます。有機化合物の構造はパズルのピースの組み合わせと考えることもできますので、パズルを楽しむような感覚で有機化学に親しみを持ち予習・復習をして下さい。

◆オフィスアワー

星野

受付時間： 授業終了後または開講日の昼休み

受付場所： 教室または1号館5階 食品衛生学第2研究室

鈴木

受付時間： 授業終了後～17:00

受付場所： 教室または1号館3階 理化学研究室

上記で対応できない場合： 電子メールで質問を受け付けます。

情報処理演習 I (2単位) (管理栄養学科・食品学科)

開講時期 1年・前期～後期

担当者氏名 岡本 直也

◆授業概要

今日の IT 社会において情報処理技術を身につけることは必要不可欠であり、パソコンと向き合うことを避けては通れない。本授業では、パソコンの基本ソフトである Windows の機能と操作方法および電子メール・パソコン周辺機器の使い方を一通り学習した後、検索エンジンを利用して目的にあった情報を効率よく集める「情報収集」、Office・画像編集ソフトを利用した「情報編集・加工」の活用方法を習得する。後期は、Excel の数式入力的前提知識として必要となる、基礎的な数学演習も行う。授業計画と並行して、e-learning を利用したショートカットキー、タッチタイピング、数学演習を繰り返し行う。授業は各回、パソコンを用いた演習形式で行われ、一人一人のペースに応じて課題を進める。

◆到達目標

1. Windows、Office、パソコン周辺機器の基本的な操作ができる。
2. Word、Excel に関する用語および操作方法が説明できる。
3. パソコン操作、疑問・トラブルを情報検索等により効率的に処理することができる。

◆授業計画 (前期)

回	項目	内容	予習・復習 (標準的な所要時間)
1	ガイダンス	パスワード変更、Web メール、添付ファイル	予習 「情報システム利用手引き」を読み、学内 LAN の利用ルールを理解する。(20分) 復習 ログイン・パスワード変更・メールの送受信方法を実践して覚える。(20分)
2	電子メール、周辺機器の利用方法	携帯電話へのメール転送、プリンタ、スキャナ、USB メモリ	予習 スキャナ・プリンタの種類・利用方法を調べる。(20分) 復習 自動転送メールが携帯電話で受信できることを確認する。携帯電話を用いて大学のメール (送受信) を利用する。(20分)
3	Word 基本操作	文書作成、画像の挿入、印刷	予習 Word の機能 (書式、写真の挿入等) を調べる。(20分) 復習 Word で写真入りの文書を作成し、カラー印刷する。(20分)
4	Windows の基本操作、タイピング	デスクトップ、マウス、キーボード、ショートカットキー、タッチタイピング	予習 Windows、OS の機能・バージョンによる違いを調べる。(20分) 復習 ショートカットキー・タイピングを e-learning により反復学習する。以後、e-learning による学習は日々行い、身につけること。(40分)
5	Windows 基本操作	ファイル操作、検索、スクリーンショット	予習 ファイルのコピー・移動・削除、検索方法を調べる。スクリーンショットのソフトウェアを調べる。(20分) 復習 ファイル・フォルダ操作を実践して覚える。必要な情報にたどり着く検索方法を身につける。(20分)
6	Windows 基本操作	アプリケーションソフト	予習 Office 以外のソフトウェア・フリーソフトを調べる。(20分) 復習 実習室 PC にインストール済みのソフトウェアを起動し、機能を把握する。(20分)
7	文書の作成	入力方式、入力モード、単語登録、オートコレクト、文書の保存	予習 教科書 p1～78 (第1～2章) の手順および HINT・POINT 等を理解する。(30分) 復習 画面構成・リボン・タブ・キーの名称を覚える。入力方式・変換方法を理解する。(30分)

回	項目	内容	予習・復習（標準的な所要時間）
8	文書の作成、修正	書式、箇条書き、インデント、アイコンの挿入、印刷、文書の再利用、コピー、切り取り、貼り付け、置換	予習 教科書 p79～124（第3～4章）の手順および HINT・POINT 等を理解する。（40分）
			復習 左記を実践し、操作方法を覚える。（40分）
9	表を使った文書	表の挿入、罫線の種類・削除、行/列の挿入・削除、幅の調整、計算式、関数、表示形式	予習 教科書 p125～154（第5章）の手順および HINT・POINT 等を理解する。（40分）
			復習 左記を実践し、操作方法を覚える。（40分）
10	年賀状の作成	年賀状作成、ワードアート、テキストボックス、画像挿入、トリミング、文字列の折り返し、宛名印刷、住所録の読み込み	予習 教科書 p155～184（第6章）の手順および HINT・POINT 等を理解する。（40分）
			復習 左記を実践し、操作方法を覚える。（40分）
11	メニュー表の作成、レイアウトを整える、Word を使いこなす	段組み、書式のコピー/貼り付け、タブとリーダー、ページ罫線、ヘッダー、フッター、テンプレート、コメントの挿入、変更履歴の記録/承諾、文書の暗号化	予習 教科書 p185～236（第7～8章）の手順および HINT・POINT 等を理解する。（40分）
			復習 左記を実践し、操作方法を覚える。（40分）
12	ほかのソフトウェアとデータをやりとりする、クラウドで使いこなす	Excel グラフの貼り付け、地図の貼り付け、PDF 形式で保存、OneDrive に保存、Word Online、モバイルアプリ、文書の共有	予習 教科書 p237～309（第9～10章、付録）の手順および HINT・POINT 等を理解する。（40分）
			復習 左記を実践し、操作方法を覚える。（40分）
13	課題作成	情報収集、画像処理	予習 写真の収集・イラストを作成する。（30分）
			復習 学習した内容を活かして文書を作成し、印刷する。（30分）
14	課題作成	Word の機能を多用した文書作成、卒論フォーマットの作成	予習 配布資料により、教科書で学習していない Word の機能を理解する。（30分）
			復習 Word の機能を一通り理解して使いこなす。（30分）
15	総合演習	e-learning	予習 e-learning による反復学習をする。（40分）
			復習 Windows、Word、ショートカットキーを使いこなす。（20分）

◆授業計画（後期）

回	項目	内容	予習・復習（標準的な所要時間）
1	ガイダンス	Excel 2019 の特徴、新機能、ショートカットキー	予習 教科書 p1～38（第1章）の手順、画面構成・用語を理解する。（20分）
			復習 Excel の用途・機能を理解する。（20分）
2	基礎数学演習	Excel 指数表示、有効数字、割合、税計算、損益算、濃度算	予習 基礎数学演習の問題を解く。（30分）
			復習 Excel の数式入力に必要な数学の知識を身につける。（30分）
3	基礎数学演習	e-learning による数学演習	予習 e-learning による反復学習を行う。（20分）
			復習 問題の効率的な解き方を覚える。（40分）
4	データ入力、セル・ワークシートの操作	データ入力と編集、オートフィル、オートコンプリート、コピー、貼り付け、行/列の挿入、削除、ブックの保存	予習 教科書 p39～92（第2～3章）の手順および HINT・POINT 等を理解する。（30分）
			復習 左記を実践し、操作方法を覚える。（30分）

回	項目	内容	予習・復習（標準的な所要時間）
5	数式と関数、表のレイアウト	数式、関数、数式のコピー、絶対参照、相対参照、セルの書式設定、罫線	予習 教科書 p93～144（第4～5章）の手順および HINT・POINT 等を理解する。（40分）
			復習 左記を実践し、操作方法を覚える。（30分）
6	印刷とページ設定、表を整える	印刷プレビュー、ヘッダー、フッター、印刷、表示形式、ユーザー定義書式、条件付き書式、データバー、スパークライン、クイック分析	予習 教科書 p145～184（第6～7章）の手順および HINT・POINT 等を理解する。（40分）
			復習 左記を実践し、操作方法を覚える。（30分）
7	グラフの作成、データベースの作成	グラフ作成、書式設定、グラフの印刷、データベースの利用、データのソート、フィルター、改ページプレビュー、ウィンドウ枠の固定、フラッシュフィル	予習 教科書 p185～230（第8～9章）の手順および HINT・POINT 等を理解する。（40分）
			復習 左記を実践し、操作方法を覚える。（30分）
8	Excel を使いこなす、クラウドで使いこなす	テンプレート、リボンのユーザー設定、ブックの暗号化、PDF 形式で保存、OneDrive に保存、Excel Online、モバイルアプリ、ブックの共有	予習 教科書 p231～311（第10～11章、付録）の手順および HINT・POINT 等を理解する。（40分）
			復習 左記を実践し、操作方法を覚える。（30分）
9	数式・関数の習得	数学/三角関数、論理関数、データベース関数、ワイルドカード	予習 教科書で学習していない Excel 関数を調べる。（30分）
			復習 「?」「*」の使い方を覚える。（30分）
10	数式・関数の習得	INT、ROUND、ROUNDDOWN、ROUNDUP、COUNT、COUNTA 等	予習 左記関数の意味と使い方を調べる。（30分）
			復習 左記関数と引数を理解し、使い方を覚える。（30分）
11	数式・関数の習得	MAX、MIN、IF、IFS、AND、OR、COUNTIF、COUNTIFS、COUNTBLANK、RANK.EQ、RANK.AVG、AVERAGEIF、AVERAGEIFS、SUMIF、SUMIFS 等	予習 左記関数の意味と使い方を調べる。（30分）
			復習 左記関数と引数を理解し、使い方を覚える。（30分）
12	総合演習	構成比、表示形式、消費税、原価、利益、成績判定	予習 第2回～3回基礎数学演習の内容を理解する。（30分）
			復習 左記を求めるための数式入力を実践して覚える。（30分）
13	総合演習	食塩相当量、エネルギー、BMI、適正体重、低体重/普通/肥満の判定	予習 第2回～3回基礎数学演習の内容を理解する。（30分）
			復習 左記を求めるための数式入力を実践して覚える。（30分）
14	総合演習	情報関数、配列数式、金利の計算、日本食品標準成分表を用いた計算 ISNUMBER、ISBLANK、VLOOKUP、IFERROR、ABS、LEFT、RIGHT、MID 等	予習 第9回～13回の関数・使い方を覚える。（30分）
			復習 左記を求めるための数式入力を実践して覚える。（30分）
15	総合演習	e-learning	予習 e-learning による反復学習をする。（20分）
			復習 Excel、ショートカットキーを使いこなす。（20分）

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
できる Word 2019	田中亘, できるシリーズ編集部	インプレス
できる Excel 2019	小舘由典, できるシリーズ編集部	インプレス

◆参考書

書名	著者	発行所
できる Windows 10 2021 年 改訂 6 版	法林岳之, 一ヶ谷兼乃, 清水理史, できるシリーズ編集部	インプレス
できる Excel 関数 データ処理の効率アップに役立つ本	尾崎裕子, できるシリーズ編集部	インプレス

◆関連科目

情報処理演習Ⅱ

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	40	小テスト	
レポート	30	実技 (発表・コミュニケーション)	30
学習に取り組む姿勢・意欲			

(補足)

- 前後期各 15 回の授業すべてに遅刻をせずに出席し、他の受講者の学習環境に配慮しつつ、堅実に取り組むことを前提として、「成績評価の方法・基準」により評価する。
- 予習・復習用の教材およびスマートフォンで練習できる e-learning 教材を用いて授業時間外の学習を行う。(スマートフォンを所有していない場合は別途対応)
- 定期試験は、授業内および予習・復習用教材で扱った問題から出題され、パソコンを用いた実技および筆記試験を併用して行う。
- 「実技」は、パソコン操作 (ショートカットキー、タイピング、受講態度等)、小テストにより評価する。小テスト (筆記・e-learning) は不定期に複数回行う。
- 授業内で作成する課題を「レポート」点として評価する。成果物の完成度のみならず、作成過程 (予習・復習をした上で効率よく作成できるか等) を重視する。
- ICT 授業支援システムを用いて、授業の理解度把握および質問受付を行う。

◆課題 (試験やレポート等) のフィードバックの方法

課題ファイルに修正が必要な場合は、学生個別に解決策を提示し、再提出を求める。

◆受講上の注意事項及び助言

- 演習は、学生ファイルサーバ
¥学生共通¥全学年学生共通¥情報処理演習 2024
のシラバスにしたがって進める。
- 第 1 回授業で質問用の電子メールアドレスを周知する。

◆オフィスアワー

受付時間：月～木曜日、16：10～17：00

受付場所：情報処理研究室

上記で対応できない場合：電子メールで質問を受け付ける。(曜日・時間は問わない)

スポーツ・リクリエーション

(1単位)

(管理栄養学科・食品学科)

開講時期 1-4年・前～後期
 担当者氏名 膳法 浩史

◆授業概要

生涯にわたって楽しむことができるスポーツやリクリエーションを身につけると生活が豊かになる。本講座は、下記の内容を行う。

- ①ウォーキングラリーの体験と提案
- ②チームビルディングイベントの体験と提案

実習は、教室、体育館およびイベント会場で実施する。

◆到達目標

1. リクリエーション活動に積極的に取り組む。
2. スポーツ・リクリエーションイベントの提案ができる。
3. スポーツ・リクリエーションイベントの運営ができる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習(標準的な所要時間)
1	ガイダンス	日時は履修登録者に対してメールで連絡を行う	予習 ウォーキングラリーについて調べる(60分)
			復習 会場までの道順を調べる(30分)
2	ウォーキングラリー①	ウォーキングラリーイベントに参加する	予習 会場周辺の情報を調べる(30分)
			復習 わからなかった用語を調べる(60分)
3	ウォーキングラリー②	ウォーキングラリーイベントに参加する	予習 ルートを確認する(30分)
			復習 わからなかった用語を調べる(30分)
4	ウォーキングラリー③	ウォーキングラリーイベントに参加する	予習 参加者のコメントを確認する(30分)
			復習 わからなかった用語を調べる(60分)
5	ウォーキングラリー④	ウォーキングラリーイベントに参加する	予習 ルートを復習する(30分)
			復習 わからなかった用語を調べる(30分)
6	ウォーキングラリー⑤	ウォーキングラリーイベントを分類し、議論する	予習 ウォーキングラリーの種類を調べる(30分)
			復習 議論した内容をまとめる(60分)
7	ウォーキングラリー⑥	東京聖栄大学を会場としたウォーキングラリーイベントを提案する	予習 ウォーキングラリーイベントを考える(60分)
			復習 提案した内容をまとめる(60分)
8	チームビルディング①	チームビルディングの基礎	予習 チームビルディングを調べる(60分)
			復習 用語をまとめる(30分)
9	チームビルディング②	チームビルディングの種類	予習 チームビルディングの種類を調べる(60分)
			復習 用語をまとめる(30分)
10	チームビルディング③	チームビルディングイベントの運営	予習 イベント運営の方法を調べる(60分)
			復習 イベント運営の心得をまとめる(30分)
11	チームビルディング④	チームビルディングの提案、議論	予習 新しいチームビルディングを考える(60分)
			復習 提案内容をまとめる(30分)
12	チームビルディング⑤	チームビルディングの練習を行う	予習 チームビルディングの方法を確認する(60分)
			復習 流れを再確認する(30分)
13	チームビルディング⑥	チームビルディングの練習を行う	予習 担当と流れを確認する(30分)
			復習 担当と流れを再確認する(60分)

14	レクリエーションイベント運営①	3班に分かれてイベント運営を行う	予習 担当と流れを再確認する (30分)
			復習 各班の発表内容をまとめる (30分)
15	レクリエーションイベント運営②	3班に分かれてイベント運営を行う	予習 各班のイベントを分類する (30分)
			復習 各班の発表内容をまとめる (30分)

※過去のウォーキングラリー： 2022年度 神田万世橋、2021年度 学内、2020年度 舞浜イクスピアリ

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所

◆参考書

書名	著者	発行所

◆関連科目
体育実技

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験		小テスト	
レポート	20	実技 (発表・コミュニケーション)	80
学習に取り組む姿勢・意欲 (補足)			

◆課題 (試験やレポート等) のフィードバックの方法

レポートや発表に対して対面、メール、またはMoodleによって、フィードバックを行う。

◆受講上の注意事項及び助言

本実習は、集中授業であるため可能な限り欠席しないよう心掛けること。万が一、欠席する場合は個別に対応を行う。

◆オフィスアワー

受付時間： 毎回の講義終了後

受付場所： 6号館2階体育学研究室

上記で対応できない場合： 質問用の電子メール (zenpou-h@tsc-05.ac.jp) で対応する。

英語Ⅱ (1単位) (食品学科・管理栄養学科)

開講時期 1年・後期
 担当者氏名 植芝牧・田邊丈人・富樫壮央

◆授業概要

高校までに習った英文法の基礎をしっかりと固めつつ、主体的に英語に向き合い、「考える」「表現で
 きる」英語力を身に付けることを目的とする。リーディング、リスニング、ライティングの力をバラ
 ンス良く伸ばす。英単語小テストを実施し、リアクションペーパーの提出を1Unitが終わるごとに求
 める。

◆到達目標

1. 中級レベルの200語程度の英文を辞書を参照して読み、意味を取れる。
2. 60語程度の英会話を聴き、理解できる。
3. 簡単な英作文を作成できる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習(標準的な所要時間)
1	ディプロマポリシー Unit8: Why are flamingos "pink"? ①	ディプロマポリシーと授業内容の関連につ いて説明する。 Unit8 のVocabulary の空欄補充。 Reading パートの音読練習と和訳	予習 p.49 のVocabulary 穴埋め。 p.50 Reading の全文和訳。(30分)
			復習 p.50 のReading の全文和訳をやり直す。 (30分)
2	Unit8: Why are flamingos "pink"? ②	英文法(形容詞と副詞)の復習。 応用英作文練習	予習 p.52 のGrammar 問題、p.53 Writing 問題に 答える。(30分)
			復習 Grammar と Writing 問題をやり直し、疑問 点を洗い出す。(30分)
3	Unit9: What is a movie "trailer"? ①	Unit9 のVocabulary の空欄補充。 Reading パートの音読練習と和訳	予習 p.55 のVocabulary 穴埋め。 p.56 Reading の全文和訳。(30分)
			復習 p.56 のReading の全文和訳をやり直す。 (30分)
4	Unit9: What is a movie "trailer"? ②	英文法(比較級)の復習。 応用英作文練習	予習 p.58~59 のGrammar 問題、Writing 問題に 答える。(30分)
			復習 Grammar と Writing 問題をやり直し、疑問 点を洗い出す。(30分)
5	Unit10: Where did bubble wrap come from? ①	Unit10 のVocabulary の空欄補充。 Reading パートの音読練習と和訳	予習 p.61 のVocabulary 穴埋め。 p.62 Reading の全文和訳。(30分)
			復習 p.62 のReading の全文和訳をやり直す。 (30分)
6	Unit10: Where did bubble wrap come from? ②	英文法(不定詞・動名詞)の復習。 応用英作文練習	予習 p.64~65 のGrammar 問題、Writing 問題に 答える。(30分)
			復習 Grammar と Writing 問題をやり直し、疑問 点を洗い出す。(30分)
7	Unit11: Why is a billiard table "green"? ①	Unit11 のVocabulary の空欄補充。 Reading パートの音読練習と和訳	予習 p.67 のVocabulary 穴埋め。 p.68 Reading の全文和訳。(30分)
			復習 p.68 のReading の全文和訳をやり直す。 (30分)
8	Unit11: Why is a billiard table "green"? ②	英文法(接続詞・前置詞)の復習。 応用英作文練習	予習 p.70~71 のGrammar 問題、Writing 問題に 答える。(30分)
			復習 Grammar と Writing 問題をやり直し、疑問 点を洗い出す。(30分)
9	Unit12: Why is film called "footage"? ①	Unit12 のVocabulary の空欄補充。 Reading パートの音読練習と和訳	予習 p.73 のVocabulary 穴埋め。 p.74 Reading の全文和訳。(30分)
			復習 p.74 のReading の全文和訳をやり直す。 (30分)
10	Unit12: Why is film called "footage"? ②	英文法(間接話法)の復習。 応用英作文練習	予習 p.76~77 のGrammar 問題、Writing 問題に 答える。(30分)
			復習 Grammar と Writing 問題をやり直し、疑問 点を洗い出す。(30分)
11	Unit14: Why are social media apps "blue"? ①	Unit14 のVocabulary の空欄補充。 Reading パートの音読練習と和訳	予習 p.85 のVocabulary 穴埋め。 p.86 Reading の全文和訳。
			復習 p.85 Reading の全文和訳をやり直してみ る。
12	Unit14: Why are social media apps "blue"? ②	英文法(分詞、関係詞、関係副詞)の復習。 応用英作文練習	予習 p.88~89 のGrammar 問題、Writing 問題に 答える。(30分)
			復習 Grammar と Writing 問題をやり直し、疑問 点を洗い出す。(30分)

13	Unit15:Where did makeup come from?①	Unit15 のVocabulary の空欄補充。 Reading パートの音読練習と和訳	予習 p.91 のVocabulary 穴埋め。 p.86 Reading の全文和訳。
			復習 p.92 Reading の全文和訳をやり直してみる。
14	Unit15:Where did makeup come from?②	英文法 (仮定法、命令文) の復習。 応用英作文練習	予習 p.94~95 のGrammar 問題、Writing 問題に答える。(30分)
			復習 Grammar と Writing 問題をやり直し、疑問点を洗い出す。(30分)
15	期末テスト対策	Unit8~15 の Vocabulary Check, Reading Comprehension, Grammar, Writing を総復習する。	予習 Unit8~15 の練習問題を全てやり直す (60分)
			復習 授業の解説を踏まえてUnit8~15 の練習問題を全てやり直す (60分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
Answers to Everyday Questions 2 (Pre-Intermediate)	Arnold Arao 他	南雲堂

◆参考書

書名	著者	発行所
総合英語フォレスト	石黒 昭博	桐原書店

◆関連科目

英語 I・III・IV 英会話 I・II

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	50	小テスト	10
レポート		実技 (発表・コミュニケーション)	10
学習に取り組む姿勢・意欲	30		

(補足)

テキストを持参しない学生は減点対象となる。
小テストとは授業中に実施するそのUnitについての単語テストなどのことである。
実技とは学生個々人の英語の発話能力のことである。

◆課題 (試験やレポート等) のフィードバックの方法

中間テストや小テストは採点した上で、できるだけ翌週授業にて返却して解説する。

◆受講上の注意事項及び助言

教員による一方通行的な講義ではなく、学生と教員の双方向的な授業にする予定なので学生自身の予習は欠かせない。

中学、高校で英語が苦手だった学生でも基礎から学び直せる内容なので、大学一年生からでも十分英語力を着けることは可能である。そのためには15回の授業に全て出席することが重要であり、欠席者にはその都度レポート (課題) 提出を求める。再履修者も初回の授業にテキストを購入の上出席すること。持参しない場合減点の対象となる。

◆オフィスアワー

受付時間: (植芝) 木曜日 16時から1時間くらい。

(富樫・田邊) 木曜日昼休み。

受付場所: (植芝) 四号館英語第一研究室。

(富樫・田邊) 一号館講師控室。

上記で対応できない場合: (植芝) Email 等で予約を入れて土曜日の午後対応。

(富樫・田邊) 質問内容の文書を学務課に渡して植芝に引き継ぐ。植芝から富樫、田邊に質問内容を伝言する。

フランス語Ⅱ

(1単位) (管理栄養学科・食品学科)

開講時期 1年・後期
担当者氏名 松浦 寛

◆授業概要

フランス語Ⅰの内容を踏まえて、さらに発展的な学習を目指します。授業のやり方等は、前期と同じです。予習・復習を習慣づけ、フランス語検定試験を受けられるよう対策を講じたいと思います。

◆到達目標

1. 初見のフランス語をすべて発音できるようにする。
2. 初歩的な会話のやりとりができるようにする。
3. 実用フランス語検定試験5級に合格できるようにする。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習(標準的な所要時間)
1	前期の復習	プリント等	予習 前期のまとめ
			復習 30分 前期の復習
2	市場で買い物をする	部分冠詞、中性代名詞 en	予習 pp.32-35 30分 部分冠詞を覚える
			復習 30分 部分冠詞の用法に習熟する
3	同上	同上	予習 同上 30分 中性代名詞を覚える
			復習 30分 中性代名詞の用法に習熟する
4	サッカーを観戦に行く	命令形、非人称構文	予習 pp.36-39 30分 命令形を覚える
			復習 30分 命令形の用法に習熟する
5	同上	同上	予習 同上 30分 非人称構文を覚える
			復習 30分 非人称構文の用法に習熟する
6	デパートで	比較級、最上級	予習 p.40-43 30分 比較級の形を覚える
			復習 30分 比較級の用法に習熟する
7	同上	同上	予習 同上 30分 最上級の用法を覚える
			復習 30分 最上級の用法に習熟する
8	紹介する	補語人称代名詞、代名動詞	予習 pp.44-47 30分 人称代名詞を覚える
			復習 30分 人称代名詞の用法に習熟する
9	同上	同上	予習 同上 30分 代名動詞の活用を理解
			復習 30分 代名動詞の用法に習熟する
10	旅の話をする	複合過去	予習 pp.48-51 30分 複合過去を理解
			復習 30分 複合過去の用法に習熟する
11	同上	同上	予習 同上 30分 複合過去の問題をする
			復習 30分 未来形の形を覚える
12	別れを言う	未来形	予習 pp.52-55 30分 未来形の運用
			復習 30分 未来形の練習問題
13	同上	同上	予習 同上 30分 未来形の練習問題
			復習 30分 検定試験の準備
14	実用検定試験対策	プリント等	予習 pp.56-59 30分 検定試験の準備
			復習 30分 検定試験の準備
15	後期のまとめ	プリント等	予習 なし
			復習 後期のまとめ

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
新・彼女は食いしん坊！1	藤田裕二	朝日出版社

◆参考書

書名	著者	発行所
プチ・ロワイヤル仏和辞典	倉方秀憲	旺文社
PC版・iphone・ipad版もある		

◆関連科目

なし。

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	40	小テスト・ノート提出	10
レポート	10	実技(発表・コミュニケーション)	30
学習に取り組む姿勢・意欲	10		

(補足) 実践的な科目なので、試験とともに出席を重視する。

◆課題(試験やレポート等)のフィードバックの方法

ノート提出後、内容をチェックし返却する。

◆受講上の注意事項及び助言

科目の性質上、遅刻や欠席は極力避けたい。成績評価は、出席状況を重視する。辞書は、上記紹介のもの以外でもかまわないが、2年次も使用する可能性があるため、各自で購入の上、必ず持参すること。

【辞書を持参しない者は受講できない】

◆オフィスアワー

受付時間：質問は、授業時に示す E-mail にて受け付ける。

中国語Ⅱ

(1 単位) (管理栄養学科・食品学科)

開講時期 1 年・後期

担当者氏名 崔 晨

◆授業概要

中国語は中国だけではなく、東南アジアなどの地域にも幅広く使う言語である。後期では前期で勉強した中国語を基礎としてさらにリスニング、会話、文書力を身につけることを目的とする。中国の食文化を紹介することで食に関する中国語を取り上げることも授業の一環である。

◆到達目標

1. リスニングを中心に中国語の語彙をさらに増やし、基礎的な会話から普段生活中で簡単な会話を応用することができる。
2. 中国語の基本構文を学び、基礎的な文章力から普段生活中でやり取りできる簡単な文書力を身につけることができる。
3. 日中比較視点で中国の食文化を理解することが授業の目標の一つである。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習 (標準的な所要時間)
1	後期授業の方針と前期授業の復習	①後期授業の概要や方針の説明 ②前期で勉強したピンインや単語、文法要点の確認と復習	予習 教科書第 1 課～第 9 課までの内容を目通しておくこと (60 分)
			復習 単語や文法などについて確認と復習すること (60 分)
2	第 10 課 ①単語の学習 ②文法の学習	①第 10 課の単語の学習 ②形容詞述語文や経験したことの言い方の学習	予習 第 10 課の単語を読んで予習しておく。(60 分)
			復習 P70～71 の文法を復習しておく。(60 分)
3	第 10 課 ①本文 ②練習問題 ③中国食文化の紹介	①本文を読んで翻訳する学習 ②練習問題から応用する練習 ③中国語食文化の紹介①	予習 P69 の本文を予習しておく。(60 分)
			復習 第 10 課の練習問題を復習しておく (60 分)
4	第 11 課 ①単語の学習 ②文法の学習	①第 11 課の単語の学習 ②主述述語文や比較の言い方の学習	予習 第 11 課の単語を読んで予習しておく。(60 分)
			復習 P76～77 の文法を復習しておく。(60 分)
5	第 11 課 ①本文 ②練習問題 ③中国食文化の紹介	①本文を読んで翻訳する学習 ②練習問題から応用する練習 ③中国語食文化の紹介②	予習 P76 の本文を予習しておく。(60 分)
			復習 第 11 課の練習問題を復習しておく (60 分)
6	第 12 課 ①単語の学習 ②文法の学習	①第 12 課の単語の学習 ②方向補語やお金の言い方の学習	予習 第 12 課の単語を読んで予習しておく。(60 分)
			復習 P82～83 の文法を復習しておく。(60 分)
7	第 12 課 ①本文 ②練習問題 ③中国食文化の紹介	①本文を読んで翻訳する学習 ②練習問題から応用する練習 ③中国語食文化の紹介③	予習 P81 の本文を予習しておく。(60 分)
			復習 第 5 課の練習問題を復習しておく (60 分)
8	第 13 課 ①単語の学習 ②文法の学習	①第 13 課の単語の学習 ②動作の完了・実現や道の尋ね方の学習	予習 第 13 課の単語を読んで予習しておく。(60 分)
			復習 P88～89 の文法を復習しておく。(60 分)
9	第 13 課 ①本文 ②練習問題 ③中国食文化の紹介	①本文を読んで翻訳する学習 ②練習問題から応用する練習 ③中国語食文化の紹介④	予習 P39 の本文を予習しておく。(60 分)
			復習 第 13 課の練習問題を復習しておく (60 分)

10	第14課 ①単語の学習 ②文法の学習	①第14課の単語の学習 ②状態の変化時の表現や年月日・曜日の言い方の学習	予習 第14課の単語を読んで予習しておく。(60分) 復習 P94～95の文法を復習しておく。(60分)
11	第14課 ①本文 ②練習問題 ③中国食文化の紹介	①本文を読んで翻訳する学習 ②練習問題から応用する練習 ③中国語食文化の紹介⑤	予習 P93の本文を予習しておく。(60分) 復習 第14課の練習問題を復習しておく。(60分)
12	第15課 ①単語の学習 ②文法の学習	①第15課の単語の学習 ②時刻や時間量の言い方	予習 第15課の単語を読んで予習しておく。(60分) 復習 P100～101の文法を復習しておく。(60分)
13	第15課 ①本文 ②練習問題 ③中国食文化の紹介	①本文を読んで翻訳する学習 ②練習問題から応用する練習 ③中国語食文化の紹介⑥	予習 P99の本文を予習しておく。(60分) 復習 第15課の練習問題を復習しておく(60分)
14	中国食文化の紹介と 応用	①日本語のレシピを中国語に翻訳すること ②各自が考え出したレシピを中国語で書いてみる	予習 これまで紹介した中国食文化を確認すること。(60分) 復習 食に関する中国語を復習しておくこと。(60分)
15	後期のまとめ	第10課～第15課への重要ポイントへの復習	予習 第10課～第15課の単語の練習。(60分) 復習 プリントを参考して総復習しておく(60分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
日中いぶこみ交差点	相原茂・陳淑梅・飯田敦子	朝日出版社

◆参考書

書名	著者	発行所
授業中資料として配布		

◆関連科目

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	40	小テスト	20
レポート	0	実技 (発表・会話)	20
学習に取り組む姿勢・意欲	20		

(補足)

◆課題 (試験やレポート等) のフィードバックの方法

小テスト：前の週に通知、試験後に解説する。

◆受講上の注意事項及び助言

授業中に集中することが大事です。

◆オフィスアワー

受付時間： 授業終了後に対応します。

受付場所： 学務課

上記で対応できない場合：学務課に相談してください。

公衆衛生学 I (2単位) (管理栄養学科)

開講時期 1年 後期
 担当者氏名 倉橋 俊至

◆授業概要

公衆衛生学の基礎となる総論部分を概説する。栄養学は医学知識に裏打ちされることにより理解が深まり、栄養士の実務は公衆衛生を学ぶことによってさらに効果的に保健栄養活動を行うことができる。健康づくりの現場では、管理栄養士が健康活動の主導的立場となることが多く、健康に関する知識と技術は実務上必須の要件となる。国家試験に合格するレベルの公衆衛生学の知識習得に留まらず、将来の実務に活かせる知識と技術を修得することをめざす。

授業は基本的に指定教科書に沿って講義形式で行い、必要に応じて補足資料等を使用する。評価のため、定期テストに加えて確認テストを随時実施し、レポート提出を求める。その結果等を総合的に評価する。

◆到達目標

1. 公衆衛生の基本概念について理解し、主要概念や健康について理解しかつ説明できる。
2. 保健統計の知識や疫学的手法を修得し、実施された調査の内容を理解しかつ説明できる。また、自ら疫学調査を企画・立案・実施し、集計・分析ができるようになることが望ましい。
3. 疾病予防と健康管理について基本的知識を修得し、現在のわが国の健康課題について理解しかつ説明できる。
4. 感染症や生活習慣病などの主な疾患について、現状と課題及び予防法・対策等を理解しかつ説明できる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習 (標準的な所要時間)
1	公衆衛生学・健康の概念 公衆衛生の歴史	健康の定義・目的、公衆衛生、予防医学、公衆衛生活動、公衆衛生の歴史について概説し、公衆衛生の基本概念について理解する。	予習: 公衆衛生の基本概念の事前学習 (60分)
			復習: 公衆衛生の基本概念と歴史のまとめ (60分)
2	保健統計 静態・動態統計 保健統計、傷病統計	人口静態統計の概要・推移、国勢調査、人口ピラミッド、人口指標、人口構造の変化、について概説し、保健統計の基本概念を理解する。	予習: 保健・人口統計の主要概念の学習 (60分)
			復習: 保健統計・人口統計の要点まとめ (60分)
3	疫学(1) 疫学の概念・指標 記述疫学と分析疫学	疫学の定義・対象と領域、記述疫学と分析疫学、罹患率や有病率等、について概説し、疫学とは何かを理解する。	予習: 疫学の概念の事前学習 (60分)
			復習: 疫学の基本概念の要点まとめ (60分)
4	疫学(2) 疫学研究の分類 コホート研究と症例対照研究	コホート研究や症例対照研究など主な疫学的手法について理解するとともに、各種指標(相対危険、オッズ比、寄与危険)等を概説する。	予習: 主要な疫学手法の事前学習 (60分)
			復習: 相対危険やオッズ比等の要点まとめ (60分)
5	疫学(3) 因果関係の評価 EBM とエビデンスレベル	疫学的因果関係、バイアス・交絡等、介入研究、ランダム化比較対照試験、EBM 等を概説し、その意味と特徴を理解する。	予習: 介入研究や因果関係等の概念を学習 (60分)
			復習: 主な疫学手法の特徴等の要点まとめ (60分)
6	疾病予防と健康管理(1) 疾病予防と疾病リスク	健康の生物心理社会モデル、運動指針、喫煙の現状・健康影響、たばこ対策について概説し、疾病リスクとその予防について理解する。	予習: 疾病予防の基本的考え方の事前学習 (60分)
			復習: 疾病予防の基本概念の要点まとめ (60分)
7	疾病予防と健康管理(2) スクリーニング ROC 曲線	スクリーニングの意義と有効性、精度(敏感度、特異度、ROC 曲線、陽性反応的中度)について概説し、疾病とリスクについて理解する。	予習: スクリーニングの意味条件等の学習 (60分)
			復習: 予防の有効性と評価の要点まとめ (60分)
8	疾病予防と健康管理(3) 健康増進と健康日本 21	飲酒、睡眠・不眠、休養指針、ストレス、歯の健康、歯科保健行動の現状について概説し、生活習慣病と健康日本 21 について理解する。	予習: 飲酒や歯科等の健康管理の事前学習 (60分)
			復習: 疾病予防と健康管理の要点まとめ (60分)
9	主な疾病の予防(1) 感染症	主要感染症、新興感染症と再興感染症について概説し、その現状と予防について理解する。	予習: 感染症予防についての事前学習 (60分)
			復習: 各感染症の予防について要点まとめ (60分)
10	主な疾病の予防(2) 予防接種、学校感染症	予防接種、学校感染症について概説し、現状と課題について理解する。	予習: 予防接種についての事前学習 (60分)
			復習: 予防接種の現状と課題の要点まとめ (60分)
11	主な疾病の予防(3) 循環器疾患	高血圧 脳血管疾患 心疾患について概説し、現状と課題について理解する。	予習: 高血圧等の現状と対策の事前学習 (60分)
			復習: 等血圧等の生活習慣病対策のまとめ (60分)

12	主な疾病の予防(4) 糖尿病・脂質異常症	肥満、メタボリックシンドローム、糖尿病、脂質異常症について概説し、現状と課題について理解する。	予習:糖尿病等の現状と対策の事前学習 (60分)
			復習:糖尿病等の生活習慣病対策のまとめ (60分)
13	主な疾病の予防(5) がん	主要部位のがん、がん検診について概説し、現状と課題について理解する。	予習:がん対策の現状と対策の事前学習 (60分)
			復習:我が国のがん対策のまとめ (60分)
14	主な疾病の予防(6) 他疾病 腎疾患、アレルギー疾患等	腎疾患、アレルギー疾患、不慮の事故と自殺の防止について概説し、現状と課題について理解する。	予習:腎疾患やアレルギー疾患の事前学習 (60分)
			復習:我が国の疾病対策のまとめ (60分)
15	まとめ	公衆衛生学総論のまとめ	予習:これまでの講義内容の復習 (60分)
			復習:公衆衛生学総論の総復習 (60分)

(補足事項) 授業内容を通して興味を持った重要課題についてレポートの提出を求める。詳細については講義の中で示す。予習・復習については、毎回、教科書の講義範囲を読み、必要に応じて参考書等を参照して重要事項の事前学習および追加・確認学習をすることが学習内容の定着に効果的である。

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
シンプル衛生公衆衛生学-最新版	監修:小山洋 編集:辻一郎、上島通浩	南江堂

◆参考書

書名	著者	発行所
国民衛生の動向-最新版	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会

◆関連科目

保健医療系専門職にとっては、公衆衛生学と併せて、医学知識の基礎となる「解剖病理」とデータを扱う科学的な考え方の基本となる「基礎統計学」を受講することが有用である。

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	60%	小テスト(確認テスト)	(補足参照)
レポート	30%	実技(発表・コミュニケーション)	
学習に取り組む姿勢・意欲	10%		

(補足)「学習に取り組む姿勢・意欲」は、授業内の発言、態度等で評価する。小テスト(確認テスト)を実施した場合は、小テストの正答率では評価せず、取り組み状況を「学習に取り組む姿勢・意欲」として総合的に評価する。

◆課題(試験やレポート等)のフィードバックの方法

必要に応じて講義時間内で対応する。個別対応が必要な場合は、原則として学務課を通じて対応する。小テスト(確認テスト)等を実施した場合は、授業内で解答例を示すなどして解説する。

◆受講上の注意事項及び助言

教科書およびノートを用意し受講すること。私語は慎むこと。

◆オフィスアワー

受付時間: 出講日は講義終了後、随時対応する。

受付場所: 直接来室で対応する。不在の場合は学務課へ連絡する。

上記で対応できない場合: 学務課を経由して文書等にて連絡のこと。対応可能な日時を指定して対応する。メール等での連絡も可。

栄養生化学 I

(2 単位) (管理栄養学科)

開講時期 1 年・後期
担当者氏名 福田 亨

◆授業概要

生化学は解析技術の進展とともに目覚しく発展してきた。それに伴い生体成分の構造や機能、代謝、遺伝、免疫、老化などの生命現象も分子レベルで解明されている。そこで細胞構成成分の化学的特徴だけでなく、核酸の構造と機能、酵素の働きについても解説し、生体内で行われる各種代謝を理解する上での基本原理を学ぶ。またその基礎知識をもとに糖質、脂質代謝を解説する。

◆到達目標

1. 生命現象の基本原理を理解することができる
2. 体内における代謝を理解するための基礎知識を身につけることができる
3. 国家試験「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」分野の生化学の出題基準に準ずる内容を理解することができる

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習 (標準的な所要時間)
1	細胞の構造	細胞の基本構造、細胞内小器官、生体膜	予習 教科書 p. 18~26 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
2	糖質	糖質の基礎、糖質の分類	予習 教科書 p. 27~36 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
3	脂質	脂質の化学、脂質の分類	予習 教科書 p. 37~47 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
4	タンパク質とアミノ酸	アミノ酸、ペプチド、タンパク質	予習 教科書 p. 48~59 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
5	酵素	酵素の分類と調節、反応速度論、酵素活性の調節	予習 教科書 p. 60~69 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
6	核酸	核酸の化学的性質、遺伝子	予習 教科書 p. 70~80 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
7	ビタミン	ビタミンの概要、脂溶性ビタミン、水溶性ビタミン	予習 教科書 p. 81~91 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
8	ミネラル	ミネラルの生理的意義、多量ミネラル、微量ミネラル	予習 教科書 p. 92~99 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
9	糖質の代謝 1	糖代謝の概要、糖質の消化と吸収 糖代謝の概要、解糖系	予習 教科書 p. 100~107 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
10	糖質の代謝 2	クエン酸回路の全体像 グルコースの完全酸化 グリコーゲンの合成と分解	予習 教科書 p. 107~112 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
11	糖質の代謝 3	糖新生、糖の相互変換	予習 教科書 p. 112~117 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
12	糖質の代謝 4	血糖値の調節、糖代謝の異常と疾患	予習 教科書 p. 117~123 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)
13	脂質の代謝 1	脂肪酸の生合成、脂肪酸の酸化	予習 教科書 p. 124~128 を読み、不明な箇所をチェックする (60 分)
			復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100 分)

14	脂質の代謝 2	ケトン体の生成	予習 教科書p.129～133を読み、不明な箇所をチェックする (60分)
		不飽和脂肪酸の代謝 エイコサノイドの代謝 アシル CoA グリセロール・リン脂質の代謝	復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100分)
15	脂質の代謝 3	脂質の輸送と蓄積	予習 教科書p.133～141を読み、不明な箇所をチェックする (60分)
		コレステロールの合成・輸送・蓄積 コレステロールの代謝産物 脂質の代謝異常	復習 教科書・配布プリントを参考に生化学ノートの該当箇所を完成させる (100分)

- * 各項目終了時に授業で行った「まとめ」の整理・確認を行う(120分×10項目)。
- * 各章終了後、羊土社から提供される栄養 WEB 演習問題を使った復習を推奨します。

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
栄養科学イラストレイテッド 生化学 第3版	藺田勝/編	羊土社

◆参考書

書名	著者	発行所
栄養科学イラストレイテッド 演習版 生化学ノート 第3版	藺田 勝/編	羊土社

◆関連科目

栄養生化学実験、栄養学、栄養学実験、臨床栄養学、応用栄養学

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	90	小テスト	
レポート		実技(発表・コミュニケーション)	
学習に取り組む姿勢・意欲 (補足)	10		

◆課題(試験やレポート等)のフィードバックの方法

授業中に試験を行った場合は、実施翌週に答案を返却し、解説を行う。

◆受講上の注意事項及び助言

- ・授業前の予習として授業範囲を教科書で確認し、不明な箇所をチェックする
- ・授業中に配布した資料を活用し、復習を必ず行うこと
- ・不明な点は放置せず、質問するだけでなく自分で調べて理解するよう心がける

◆オフィスアワー

受付時間： 授業時間以外 9:00～17:00
 受付場所： 食品生化学研究室(7号館2F)
 上記で対応できない場合： E-mailにて対応

食品学総論 I

(2単位) (管理栄養学科)

開講時期 1年・後期
担当者氏名 筒井 知己

◆授業概要

食品の種類は非常に多く、また種々の成分が複合的に含まれている。食品学総論 I では、食品の定義や機能、食品の分類、食品成分表について解説する。さらに、食品成分の化学的構造と性質、機能性についても説明する。

◆到達目標

1. 食品成分の中で、水分と五大栄養素について説明できる。
2. 食品に含まれる三大栄養素の構造、性質、所在について説明できる。
3. 食品成分の栄養と機能性について説明できる。
4. 管理栄養士国家試験に合格できる知識を身につける。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習 (標準的な所要時間)
1	食品とは	人間と食品、食品の機能、食品の成分	予習 シラバスを読み、授業内容を把握する。また教科書 p.1～5 を熟読する(60分)
			復習 人間と食品、食品の機能、食品の成分をまとめる(60分)
2	食品の分類と表示	食品の分類、食品成分表、特別用途食品、保健機能食品	予習 教科書 p.6～30 を熟読する(60分)
			復習 食品の分類および食品成分表、保健機能食品等についてまとめる(60分)
3	水分	自由水と結合水、水分活性(Aw)	予習 教科書 p31～39 を熟読する(60分)
			復習 水分についてまとめる(60分)
4	炭水化物①	食品中の炭水化物と単糖類、少糖類	予習 教科書 p66～72, 153～158 を熟読する(60分)
			復習 炭水化物と単糖類、少糖類についてまとめる(60分)
5	炭水化物②	食品中の誘導糖、多糖類 (デンプン)、デンプンの糊化・老化	予習 教科書 p72～73, 159～163 を熟読する(60分)
			復習 誘導糖、デンプンおよびデンプンの糊化・老化についてまとめる(60分)
6	炭水化物③	その他の多糖類、炭水化物の栄養価、食物繊維、	予習 教科書 p74～80, 163～168 を熟読する(60分)
			復習 その他の多糖類、炭水化物の栄養価、食物繊維についてまとめる(60分)
7	脂質①	脂質の分類と脂肪酸	予習 教科書 p56～62 を熟読する(60分)
			復習 油脂の分類と脂肪酸についてまとめる(60分)
8	脂質②	油脂の理化学的特徴と性質	予習 教科書 p138～142 を熟読する(60分)
			復習 油脂の理化学的特徴と性質をまとめる(60分)
9	脂質③	油脂の酸化とその防止法、油脂の栄養	予習 教科書 p63～66 を熟読する(60分)
			復習 油脂の酸化と防止法、栄養についてまとめる(60分)
10	タンパク質①	タンパク質の構造、分類	予習 教科書 p39～44, 109 を熟読する(60分)
			復習 タンパク質の構造、分類についてまとめる(60分)
11	タンパク質②	タンパク質の構造、分類	予習 教科書 p44～51, 110 を熟読する(60分)
			復習 タンパク質の構造、分類についてまとめる(60分)
12	タンパク質③	タンパク質の性質、栄養	予習 教科書 p.51～56 を熟読する(60分)
			復習 タンパク質の性質、栄養についてまとめる(60分)
13	無機質	食品中の無機質とその所在	予習 教科書 p.80～86 を熟読する(60分)
			復習 食品中の無機質とその所在についてまとめる(60分)

14	ビタミン①	脂溶性ビタミン	予習 教科書p86～92を熟読する(60分)
			復習 脂溶性ビタミンについてまとめる(60分)
15	ビタミン②	水溶性ビタミン、 ビタミンの調理、加工、保蔵中の変化	予習 教科書p.92～101を熟読する(120分)
			復習 水溶性ビタミン、ビタミンの調理、加工、保蔵中の変化についてまとめる(60分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
標準食品学総論	青柳康夫、筒井知己	医歯薬出版

◆参考書

書名	著者	発行所
食品成分表2020		医歯薬出版 編

◆関連科目

食品学総論Ⅱ、食品学各論Ⅰ、Ⅱ、食品学実験

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	90	小テスト	
レポート		実技(発表・コミュニケーション)	
学習に取り組む姿勢・意欲 (補足)	10		

- ・小テストを複数回行う。
- ・15回の授業すべてに遅刻をせず出席することが前提である。

◆課題(試験やレポート等)のフィードバックの方法

小テスト返却時に解答および解説を行う。

◆受講上の注意事項及び助言

授業中に配布した資料を活用し、必ず復習を行うこと。

◆オフィスアワー

受付時間：授業開講日の16:10～17:00

受付場所：研究室(5号館4階)

上記で対応できない場合：研究室前のメッセージボードの活用

調理学実習Ⅱ

(1 単位) (管理栄養学科)

開講時期 1 年・後期
担当者氏名 福留 奈美

◆授業概要

調理学の講義で得た理論や調理学実習Ⅰを基礎に、西洋料理・日本料理・中国料理の幅広い調理技術の習得だけでなく、盛り付けの配慮、配膳・サービス・マナーの基本、食文化的背景などについても学ぶ。また、各種料理の構成要素を理解し、献立作成への活かし方や大量調理への応用課題についても、実習を通して学習する。

◆到達目標

1. 中国料理、西洋料理、日本料理の特徴を理解し、調理技術を身に付ける。
2. 食材の扱い方、調理操作、調理器具の扱い、盛り付け、配膳方法、喫食時のマナー等を身に付ける。
3. 適切な分量の把握、材料の標準的的配合および調味パーセントを理解し、献立へ活かすことができる。
4. 調理の理論と調理操作で起こる現象を関連づけて説明できる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習
1	ガイダンス 中国料理 1	ガイダンス、注意事項 麻婆豆腐、棒棒鶏、烏龍茶 ※キュウリのせん切り	予習：実習内容を教科書で確認し、調理の流れを把握しておく。(30分) 復習：中国の醤、中国茶、せん切りのコツ等についてまとめる。(90分)
2	中国料理 2	中国料理の特徴 咕咾肉、清川鶉蛋、普洱茶 ※大根かつらむき	予習：実習内容を教科書で確認し、調理の流れを把握しておく。(30分) 復習：中国料理の特徴、湯の取り方、油通し、溜菜についてまとめる。(90分)
3	中国料理 3	鍋貼餃子、乾焼明蝦、茉莉花茶 ※包丁研ぎの説明	予習：実習内容を教科書で確認し、調理の流れを把握しておく。(30分) 復習：餃子の包み方、エビ下処理、中国風炒め煮の調理要領をまとめる。(90分)
4	西洋料理 1	Sandwiches (英)、西洋料理の要点 Consommé ordinaire 紅茶	予習：西洋料理の特徴(教科書 p.69~81)に目を通し、重要事項をまとめておく。(30分) 復習：サンドイッチの基本、洋風煮だし汁、紅茶の淹れ方についてまとめる。(90分)
5	西洋料理 2	Tranche de saumon sauce ravigote et sauce tartare Pommes de terre nature Compote de pommes※皮むき、ハーブ	予習：実習内容を教科書で確認し、調理の流れを把握しておく。(30分) 復習：ソテーとソース 2 種、皮むきのコツ等の要点をまとめる。(90分)
6	西洋料理 3	Omelettes au bœuf ※オムレツ Choux à la crème Plateau de fromages	予習：実習内容を教科書で確認し、調理の流れを把握しておく。(30分) 復習：オムレツのコツ、小麦粉生地膨化調理、ナチュラルチーズについてまとめる。(90分)
7	西洋料理 4	Gnocchi (伊) Oeufs à la neige (Crème anglaise, Meringue) (仏)	予習：実習内容を教科書で確認し、調理の流れを把握しておく。(30分) 復習：ニョッキ、メレンゲとカスタードソースの要点をまとめる。(90分)
8	西洋料理 5	Chicken Indian curry Spice Milk Tea (chai) ※クリスマスケーキ試食、スパイス	予習：実習内容を教科書で確認し、調理の流れを把握しておく。(30分) 復習：魚のパン粉つけ焼き、マッシュポテト、ニョッキの要点とコーヒーについてまとめる。(90分)
9	西洋料理 6 クリスマス料理	Poulet grill à l'anglaise Bouche de Noël (仏) コーヒー	予習：実習内容を教科書で確認し、調理の流れを把握しておく。(30分) 復習：骨付き鶏もも肉の下処理と焼き方、クリスマス料理とケーキの要点をまとめる。(90分)

10	調理の技術	包丁研ぎ 鰯の南蛮漬け ※三枚おろし Potato gratin (Sauce Béchamel)	予習：包丁研ぎの手順・動画と、ベシヤメルソースの作り方を確認してくる。(30分)
			復習：要点をまとめる。(90分)
11	日本料理 1	おせち料理の概要 数の子、田作り、栗金団、紅白なます (柚子釜)、海老旨煮、梅人参、手綱 こんにゃく、黒豆、数の子	予習：実習内容を教科書で確認し、調理の流れを把握しておく。(30分)
			復習：正月料理にこめられた願いや意味について料理ごとにまとめる。(90分)
12	日本料理 2	関東風雑煮、関西風雑煮 ※梅人参 柚子饅頭(包餡) 日本茶	予習：雑煮について調べてくる。(30分)
			復習：我が家の雑煮についてまとめる。(90分)
13	減塩食	減塩調理の方法について	予習：減塩調理の基本について予習してくる
			復習：減塩調理のコツについてまとめる
14	実技試験 1	梅人参・ジャガイモ皮むき・鰯三枚お ろし・キュウリせん切りのテスト	予習：実技試験の対策を行う。(90分)
			復習：実技試験の反省点をまとめる(30分)
15	実技試験 2 まとめ	大根かつらむき・オムレツのテスト、 大掃除、テスト対策、まとめ	予習：実技試験の対策を行う。(60分)
			復習：総復習を行う(60分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
新版 調理実習書	浜島教子、富吉靖子、佐藤辰江、橋場浩子、 大田原美保	学建書院

◆参考書

書名	著者	発行所
八訂 食品成分表 2024	香川明夫監修	女子栄養大学出版部
NEW 調理と理論	山崎清子、島田キミエ	同文書院
総合調理科学事典	日本調理科学会 編	光生館

◆関連科目 調理学、調理学実習 I、調理学実験

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	30	小テスト	
レポート	30	実技(発表・コミュニケーション)	30
学習に取り組む姿勢・意欲	10		

(補足)

◆課題(試験やレポート等)のフィードバックの方法

実習レポートに書く内容・要点を解説し質問を受け付ける。Moodle を用いて授業の理解度の確認や質問対応等を行う。

◆受講上の注意事項及び助言

試食では衛生管理の徹底をはかる。特に身支度、手洗い等自己の衛生管理を徹底する。

配布レシピに加えて示範の要点を正確に記録し、調理の再現ができるようにレポートをまとめること。

◆オフィスアワー

受付時間および場所：新学期開始時に学務課からの掲示を確認すること、食文化研究室(4号館4階)
上記で対応できない場合：研究室入り口のBOXに用件と連絡先を入れること。折り返し連絡する。

調理学実験

(1 単位) (管理栄養学科)

開講時期 1 年・後期
担当者氏名 福留奈美

◆授業概要

食品素材の性質や取り扱いおよび調理操作について実験的に体験し、嗜好性・栄養性・安全性等に考慮した調理に必要な理論と技術の習得に役立てる。また、官能評価の手法を学び、食べ物の客観的特性と関連づける。

◆到達目標

1. 官能評価の手法を理解し、基本的なデータ解析ができる。
2. 実験の目的を理解し、適切な試料調製と実験項目の測定、および官能評価ができる。
3. 実験結果を適切にまとめ、結果の根拠となることを調理科学的に説明できる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習 (標準的な所要時間)
1	調理学実験にあたって 飲み物に関する実験	調理学実験の目的・レポートの書き方 緑茶の種類と淹れる湯の温度と浸出時間	予習: 実験書および調理学教科書の該当箇所を熟読する (20 分) 復習: お茶の抽出温度と呈味の違いをまとめる (60 分)
2	だしに関する実験	うま味の相乗効果 煮干しだしと調味料の影響 塩分測定と塩分調整	予習: 実験書および調理学教科書の該当箇所を熟読する (40 分) 復習: 塩分濃度計算の復習と官能評価結果のまとめを行う (60 分)
3	卵に関する実験 官能評価の検定方法	卵液の熱凝固性 卵黄と卵白の熱凝固性 検定方法の確認	予習: 実験書および調理学教科書の該当箇所を熟読する (40 分) 復習: 実験結果のまとめ、およびレポートの作成、官能検査の検定法を確認する。 (60 分)
4	野菜に関する実験 レポートの書き方(1)	野菜の色の变化 結果の読み取り、考察の方法	予習: 実験書および調理学教科書の該当箇所を熟読する (40 分) 復習: pH が野菜の色に及ぼす影響をまとめる。レポートの書き方の確認 (60 分)
5	いもに関する実験	じゃがいもの調理特性 さつまいもの糖化と加熱方法	予習: 実験書および調理学教科書の該当箇所を熟読する (40 分) 復習: じゃがいもの特性、さつまいも中のβ-アミラーゼの働きをまとめる (60 分)
6	米に関する実験	米の調理特性	予習: 米の種類と炊飯条件の確認 (40 分) 復習: 実験結果をまとめ結果の読み取りを注意して行う。 (60 分)
7	魚に関する実験	魚のすり身に及ぼす食塩等の影響 煮魚の調味料の影響	予習: 実験書および調理学教科書の該当箇所を熟読する (40 分) 復習: すり身ゲルのテクスチャーに及ぼす副材料の影響をまとめる (60 分)
8	肉に関する実験 レポートの書き方(2)	挽肉の調理特性、副材料の役割 実験結果の示し方	予習: 実験書および調理学教科書の該当箇所を熟読する (40 分) 復習: ハンバーグステーキに及ぼす副材料の影響をまとめる (60 分)
9	寒天・ゼラチンに関する実験	各種ゲル化剤の特性 ゲル化における添加物の影響 発表テーマ設定と準備	予習: 実験書および調理学教科書の該当箇所を熟読する (40 分) 復習: 寒天・ゼラチンゲルの特性や扱い方をまとめる (60 分)
10	果物に関する実験	りんごの褐変とその抑制 りんごの品種と調理特性	予習: 実験書および調理学教科書の該当箇所を熟読する (40 分) 復習: 酵素的褐変とその抑制法や官能評価の結果を総合的にまとめる (60 分)
11	発表準備 (1)	グループ分け、発表内容検討	予習: レポートの整理、内容の振り返り (40 分) 復習: 発表内容のまとめと確認 (60 分)
12	発表準備 (2)	結果の読み取りと考察 発表準備、グループ内リハーサル	予習: 発表スライド・原稿の作成 (40 分)。 復習: 発表準備 (60 分)。

13	発表演習 1	公開発表リハーサル、発表準備	予習：発表リハーサルのスライド作成 (60分)
			復習：スライドの修正、および全実験内容の振り返りと確認を行う (30分)
14	発表演習 2	発表	予習：発表練習
			復習：発表のふり返し
15	まとめ、小テスト他	官能評価と検定の小テスト 振り返り、まとめ、大掃除	予習：官能評価と検定法の確認。(60分)
			復習：官能評価の結果まとめ (60分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
新編 調理科学実験	今井悦子、柳沢幸江編著	アイ・ケイ・コーポレーション
八訂 食品成分表 2024	香川明夫 監修	女子栄養大学出版部

◆参考書

書名	著者	発行所
調理学 食品の調理特性を正しく理解するために	河内公江編	化学同人
NEW 調理と理論	山崎清子、島田キミエ	同文書院

◆関連科目

調理学、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	30	小テスト	10
レポート	30	実技 (発表・コミュニケーション)	20
学習に取り組む姿勢・意欲	10		

(補足)

◆課題 (試験やレポート等) のフィードバックの方法

・実験レポートに書く内容・要点を解説し質問を受け付ける。Moodle を用いて授業の理解度の確認や質問対応等を行う。

◆受講上の注意事項及び助言

「管理栄養士国家試験」に合格できる知識と技術と能力を身に付けることを意識する。

「調理学」で学習する内容との関連性を意識しながら実習に臨み、レポートにも反映させること。

◆オフィスアワー

受付時間および場所：新学期開始時に学務課からの掲示を確認すること、食文化研究室 (4号館4階)

上記で対応できない場合：研究室入り口のBOXに用件と連絡先を入れること。折り返し連絡する。

基礎栄養学 I

(2 単位) (管理栄養学科)

開講時期 1 年・後期
担当者氏名 大塚 静子

◆授業概要

基礎栄養学 I では適切な栄養の摂取が健康の保持・増進、疾病の予防・治療につながることを食物および食生活の面から学ぶ。そのためには、栄養の意義と役割、糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラルの五大学養素の構造と機能や消化吸収の仕組みなど栄養の基本を理解する必要がある。また各栄養素の不均衡な摂取と各種生活習慣病の発症構造や予防、治療についても講義の中で関連づけて学習する。

◆到達目標

1. 栄養の概念と 3 大栄養素の構造と機能を理解することができる。
2. 各栄養素が生体内で果たす役割と健康・疾患との関係について理解することができる。
3. 管理栄養士国家試験の「基礎栄養学」分野の内容を理解することができる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習 (標準的な所要時間)
1	栄養の概念	栄養の定義、栄養と健康・疾患	予習 教科書 p.14~26 を読む (60 分)
			復習 栄養・栄養素についてまとめる (60 分)
2	食物の摂取	摂食調節のメカニズムについて	予習 教科書 p.28~37 を読む (60 分)
			復習 食事の重要性と健康・疾患の関係についてまとめる (60 分)
3	栄養素の消化と吸収 (1)	消化器系の構造と機能	予習 教科書 p.39~50 を読む (60 分)
			復習 消化酵素名とその作用機序、吸収形態、体内動態についてまとめる (60 分)
4	栄養素の消化と吸収 (2)	消化過程の概要	予習 教科書 p.50~55 を読む (60 分)
			復習 管腔内消化・膜消化をまとめる (60 分)
5	栄養素の消化と吸収 (3)	栄養素別の消化・吸収	予習 教科書 p.56~66 を読む (60 分)
			復習 栄養素別の消化吸収過程をまとめる (60 分)
6	腸内フローラ (DVD)	腸内細菌について	予習 教科書 p.56~60 を読む (60 分)
			復習 腸内フローラのまとめ・感想 (60 分)
7	炭水化物の栄養 (1)	炭水化物の概要、糖質の分類と機能	予習 教科書 p.68~72 を読む (60 分)
			復習 食後・空腹時の糖質代謝をまとめる (60 分)
8	炭水化物の栄養 (2)	血糖とその調節、糖質の体内代謝	予習 教科書 p.73~77 を読む (60 分)
			復習 糖質と脂質、糖質とたんぱく質の関係をまとめる (60 分)
9	炭水化物の栄養 (3)	他の栄養素との関係・糖尿病 (DVD)	予習 教科書 p.78~84 を読む (60 分)
			復習 中間試験・間違いの確認をする (60 分)
10	中間試験 たんぱく質の栄養 (1)	第 1 章～第 4 章までの小テスト アミノ酸・たんぱく質の構造と機能	予習 教科書 p.107~110 を読む (60 分)
			復習 アミノ酸・たんぱく質の栄養学的役割をまとめる (60 分)
11	たんぱく質の栄養 (2)	たんぱく質・アミノ酸の体内代謝	予習 教科書 p.110~117 を読む (60 分)
			復習 食後・空腹時のたんぱく質・アミノ酸代謝をまとめる (60 分)

12	たんぱく質の栄養 (3)	他の栄養素との関係	予習 教科書 p.117～123 を読む(60分)
			復習 糖新生とたんぱく質代謝をまとめる (60分)
13	脂質の栄養 (1)	脂質の概要、脂肪酸の種類と機能	予習 教科書 p.87～94 を読む (60分)
			復習 脂質の栄養学的役割をまとめる (60分)
14	脂質の栄養 (2)	脂質の体内代謝	予習 教科書 p.96～99 を読む (60分)
			復習 食後・空腹時の資質代謝をまとめる (60分)
15	脂質の栄養 (3)	他の栄養素との関係	予習 教科書 p.100～103 を読む (60分)
			復習 ビタミンB ₁ ・糖質の節約作用をまとめる (60分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 第4版	田辺陽一／編	羊土社

◆参考書

書名	著者	発行所
栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学ノート 第4版	田辺陽一／編	羊土社
栄養科学イラストレイテッド 生化学 改訂第3版	藪田勝／編	羊土社

◆関連科目

基礎栄養学Ⅱ、栄養生化学Ⅰ・Ⅱ、栄養学実験、応用栄養学、臨床栄養学

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	70	小テスト	10
レポート		実技 (発表・コミュニケーション)	
学習に取り組む姿勢・意欲	20		

(補足) 各章のまとめのプリントを仕上げること。

◆課題 (試験やレポート等) のフィードバックの方法

小テストは解答・解説を行い返却する

◆受講上の注意事項及び助言

- ・栄養学は基礎の教科であり、「応用栄養学」や「臨床栄養学」の分野の科目の理解には不可欠である。
- ・各章のまとめプリントを仕上げることにより基礎学力の定着をはかる。
- ・授業中に配布したプリントはファイリングをし、復習に活用すること。

◆オフィスアワー

受付時間：火～金 16:30～17:30

受付場所：基礎栄養学研究室 (1号館2階)

上記で対応できない場合：E-mail (otsuka@tsc-05.ac.jp) にて対応する。

栄養教育論 I

(2 単位) (管理栄養学科)

開講時期 1 年後期

担当者氏名 高橋 美恵子

◆授業概要

本科目は国立病院機構に 37 年勤務し、患者の栄養教育に携わった教員が担当する。授業では、管理栄養士としての心構えや社会での役割を捉え、自立した食生活が営めるような教育のあり方を学び、栄養教育の必要性と目的および目標を正しく理解する。

また、各時代における栄養教育のニーズと取り組み内容を考察し、具体的な栄養教育の対象や場の概要と法的根拠についても学ぶ。特に栄養教育に必要とされる行動科学では、食行動の変容と行動科学、個人、集団社会の行動変容に関する理論とモデルについての概念、栄養教育における具体的活用方法について学習する。食環境づくりと栄養教育では、教育的アプローチと環境的アプローチの関係とその必要性について学習する。カウンセリングの技法は演習を通して学ぶ。

◆到達目標

1. 栄養教育の意義および目的を説明できる。
2. 行動変容に関する行動科学理論と技法について理解し、説明できる。
3. 組織・地域づくりの展開、食環境づくりと栄養教育の必要性を理解し、説明できる。
4. 栄養カウンセリングの定義、カウンセリング技法について説明できる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習 (標準的な所要時間)
1	ガイダンス	授業の流れ、栄養教育論について、他の教科との関係、管理栄養士に対しての社会の期待について学ぶ	予習：シラバスを読む。管理栄養士の活躍の場について調べる。(60分) 復習：栄養教育論と他の教科との関連についてまとめる。(60分)
2	栄養教育の概念・定義	栄養教育の定義と目的・目標、栄養教育と健康教育者の資質	予習：健康、食品など管理栄養士が知っておくべき問題について調べる。(60分) 復習：栄養教育の定義、目的、目標をまとめて覚える。(60分)
3	栄養教育の健康教育	栄養教育と健康教育・ヘルスプロモーション・食育 栄養教育と生態学的モデル	予習：健康日本21について調べる。(60分) 復習：食育推進基本計画のポイントをまとめる。(60分)
4	栄養指導・栄養教育の歴史	栄養学の発展と栄養指導・栄養教育の歴史	予習：栄養指導・栄養教育の歴史について調べる。(60分) 復習：政策や法律、指針などから1つ調べてレポートにまとめる(60分)
5	健康上の問題点	政策や法律、指針の課題発表 現代の抱えている健康上の問題点と法律 食育推進基本計画	予習：栄養教育に関係する法律について調べる。(60分) 復習：食育推進基本計画から食生活に関する問題に対し取り組みをレポートにまとめる(60分)
6	行動科学と教育	行動科学の定義と目的 行動の捉え方	予習：行動科学と教育に関して調べる。(60分) 復習：行動技法についてまとめる。(60分)
7	行動科学の理論とモデル ①	行動科学の基礎となる学習理論	予習：行動科学の基礎となる学習理論について調べる。(60分) 復習：学習理論についてまとめる。(60分)
8	行動科学の理論とモデル ②	個人要因に焦点を当てた行動変容の理論 対人関係や環境要因に焦点を当てた行動変容の理論	予習：行動変容理論について調べる。(60分) 復習：トランスセオレティカルモデルについてまとめる。(60分)
9	行動科学の理論とモデル ③	大規模集団や地域レベルに焦点を当てた行動変容理論	予習：地域レベルの行動変容理論について調べる。(60分) 復習：イノベーション普及理論について理解する。(60分)
10	栄養教育マネジメントで用いる理論とモデル	プリシード・プロシードモデル ソーシャルマーケティング	予習：プリシード・プロシードモデルについて調べる。(60分) 復習：ソーシャルマーケティング理論について理解する。(60分)
11	行動変容のための技法	行動技法と概念	予習：行動技法一覧を完成させる。(60分) 復習：確認テストの正文化をする。(60分)
12	栄養カウンセリング①	栄養カウンセリングの定義とカウンセリングマインド	予習：栄養カウンセリングについて調べる。(60分) 復習：確認テストの正文化をする。(60分)
13	栄養カウンセリング②	カウンセリングの技法の活用、傾聴の演習	予習：栄養カウンセリングの定義、技法について調べる。(60分) 復習：カウンセリング技法をまとめる。(60分)

14	栄養カウンセリング③	行動変容カウンセリングの実際 動機づけ面接	予習：行動変容面接の特徴を調べる。(60分)
			復習：演習を振り返り、カウンセリングの技法を日常生活で活用する方法について考える。(60分)
15	まとめ	1回目～14回目のまとめ	予習：今までに学んだ授業内容をまとめる。(60分)
			復習：授業で学んだことを再確認し、定期試験に向けて学習する。(60分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
栄養教育論（改訂第5版）	丸山千寿子、足立淑子、武見ゆかり	南江堂
配布プリント		

◆参考書

書名	著者	発行所
栄養教育論－栄養の指導－第22版	石井幸江他	学建書院

◆関連科目

管理栄養士の基礎演習、応用栄養学、公衆栄養学、公衆衛生学、心理学

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	75	小テスト	10
レポート	10	実技（発表・コミュニケーション）	
学習に取り組む姿勢・意欲	5		

（補足）

- ・授業の復習、理解度の確認として、授業の最後に小テストを実施して評価する。
- ・レポートは2回課し、6段階（5点、4点、3点、2点、1点、0点）で評価する。課題の提出日時を守り、誤字・脱字がなく、適切にまとめられているかを評価する。
- ・学習に取り組む姿勢・意欲は、授業内での発言、意欲的に取り組んでいるかを評価する。

◆課題（試験やレポート等）のフィードバックの方法

小テストは授業内に答え合わせと解説を行う。

◆受講上の注意事項及び助言

遅刻・欠席をせず、積極的に参加をする。授業に必要なテキスト及び資料は各自で調べて用意する。
講義で配布したプリントおよびノートは整理してファイルすること。
欠席した場合は、プリントを取りに来ること。

◆オフィスアワー

受付時間：授業日 授業終了後～17時30分

受付場所：栄養教育研究室（1号館3F）

上記で対応できない場合：研究室前のメッセージボードの活用及び電子メール(takahashi-mie@tsc-05.ac.jp)

教育原論 (2単位) (管理栄養学科)

開講時期 1年・後期
担当者氏名 有村久春

◆授業概要

子供の存在や成長及び発達をベースにした教育の原理を指導する。子供の成長と教育の営みとの関係、子供と教師とのかかわり、学校教育の目的などを考える。そのうえで、「教育とは何か」の問いに自らの意見と論理がもてるようにする。

具体的には、教育の原理としての①学校の役割、②教育の目標、③教育の思想、④教師論、⑤教育課程論など、栄養教諭として身に付けたい教育の論理を実践的に学ぶ。授業方法としては、講義を中心に具体的な資料を提示しながらグループディスカッションや討論、プレゼン発表や意見発表等を行う。

◆到達目標

1. 「教育とは何か」の問いから、その意義や目標、教育の思想などを理論的・実践的に理解できる。
2. 子供(人間)の存在や学校における教育の論理を教育の思想家や実践研究者の論をもとに学ぶことができる。
3. 教育者を志す者としての資質・能力を培い、教職にあって不可欠な教育の根本原理を具体的に理解できる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習(標準的な所要時間)
1	「教育」とは何か、その基本的な意味・意義を学ぶ	(オリエンテーション) 教育の一般的な意味、語義的な解釈等を学ぶ	予習 シラバスを読んでおく (60分)
			復習 教育の意味をノートに記録する (60分)
2	子供(人間)の存在と学校教育	子供とは何か、その存在を考える	予習 テキストp2「子どもの存在」を読む (90分)
			復習 「教育・子供」を用語解説する (60分)
3	教育の原理①: 学校の役割	今日の学校の状況を知る	予習 テキストp3~6を読む (60分)
			復習 学校教育の課題をまとめる (90分)
4	教育の原理②: 教育の目的と目標	教育の「目的」を理解する	予習 教育基本法・学校教育法の内容から「目的」を読む(必携教職六法) (90分)
			復習 法的理解をまとめる(教職六法) (120分)
5	教育の原理③: 教育の思想と歴史 — 教育思想の古典	ギリシアの教育哲人を学ぶ	予習 テキストp32~34を読む (60分)
			復習 3人の哲人についてまとめる (60分)
6	教育の原理④: 教育思想の近代・現代	中世から近代の教育学者を学ぶ	予習 テキストp34~36を読む (60分)
			復習 コメニウス等の教育論を記述する (90分)
7	教育に影響を与えた人々① (カント、ピアジェ、ルソー、デューイなど)	カント、ピアジェ、ルソーなどの教育論を学ぶ	予習 カントなど調べておく (90分)
			復習 カント、ピアジェ、ルソーなどの教育論についてノートに取りまとめる (60分)
8	教育に影響を与えた人々② (福沢諭吉、新渡戸稲造などなど9人)	とくに日本人の教育学者に学ぶ	予習 『学問のすすめ』を読んでおく (90分)
			復習 テキストp43~46の人物と業績をまとめる (60分)
9	教師と子供とのかかわり①	その基本原則およびカウンセリング感覚のあるかかわりを学ぶ	予習 テキストp47~68の概要理解 (60分)
			復習 テキスト第3章の内容をまとめる (90分)
10	教師と子供とのかかわり②	その基本原則、カウンセリング感覚のあるかかわりを理解する	予習 テキストp47~68の概要理解 (60分)
			復習 テキスト第3章の内容をまとめる (90分)
11	教育課程の編成と実施①	その編成と実施の方法を理解する。	予習 法規から教育課程の意味を調べる (90分)
			復習 テキストp49~79の理解と記述 (60分)
12	教育課程の編成と実施②	とくにその概要と法的理解を深める	予習 法規から教育課程の意味を調べる (120分)
			復習 テキストp49~79の概要理解 (60分)

13	学級経営 (HR 経営) と学級教師	学級における教師論と学習指導および生徒指導	予習 テキスト 5 章・6 章を読んでおく (60 分)
			復習 学級経営の在り方をまとめる (90)
14	教育の制度と学校	教育制度の法的理解を深める	予習 法規から教育制度の在り方を調べる (60 分)
			復習 とくに地教行法の理解と記述 (60 分)
15	まとめ・講義の振り返り	改めて教育の意味を問い直す	予習 これまでの講義内容を読み返す (90 分)
			復習 テキストと講義ノートの内容を理解する (テストの準備を行う) (120 分)

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
『教育の基本原理を学ぶ』	有村久春	金子書房、2020 初版 7 刷
必携教職六法 (2024 年度版)	若井 彌一編著	協同出版

◆参考書

書名	著者	発行所
新訂版 学級教育相談入門	有村久春	金子書房、2014

◆関連科目 「教育課程論」「生徒指導の理論と方法」

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	50%	小テスト	10%
レポート、プレゼン発表	20%	実技 (発表・コミュニケーション)	10%
学習に取り組む姿勢・意欲	10%		

(補足) *学習に取り組む姿勢・意欲については、授業内容への問い (相互質問) に積極的に応えること、レポート作成および課題のプレゼンなどに取り組むことを評価する。

◆課題 (試験やレポート等) のフィードバックの方法

- ・プレゼン発表やレポート内容を点検し、個々の学生に適したアドバイスを文字化して返却する。
- ・縮小コピー等を行い、受講学生全員に配布する。相互の学び合いと共同化を図る。
- ・課題レポートを授業の事前に配布し、予習内容として活用する。

◆受講上の注意事項及び助言

- ・積極的に授業に参画し、疑問点や質問事項を提案すること。
- ・予習や復習を十分に行う。必要な課題レポートに意欲的に取り組むこと。
- ・自ら学修課題を解決するように努め、演習やグループでの学びに取り組むこと。

◆オフィスアワー

- ・受付時間： 原則として、火曜日、水曜日、金曜日の昼休み (12 : 10 ~ 12 : 50)
- ・受付場所： 教育学第 1 研究室 (4 号館)
- * 上記で対応できない場合： 研究室入口の伝言板に用件をメモすること。

教職概論 (2 単位) (管理栄養学科)

開講時期 1 年・後期
担当者氏名 嶺井正也

◆授業概要

教育基本法第 9 条に示される教員の崇高な使命や地方公務員としての服務などを理解し、子どもの教育を受ける権利を学習指導・生徒指導を通して保障する役割をもつ教職の在り方を学ぶ。

また、教育法制、学校教育の現状や課題、保護者や地域社会から寄せられる教職への希望や批判、教職への道など理解していくようにする。板書やプリントに加え、DVD 等の利用、グループディスカッション、プレゼンテーションを取り入れる。また、小テストを中間時点で実施する。

◆到達目標

1. 教職の意義や役割、求められる資質能力、コンプライアンスを理解し、説明することができる。
2. 教職の現状(教員の身分・職階と待遇、教育の勤務条件や保護者からの期待を含む)、教員の研修やキャリア形成の重要性を認識し、教職に就こうとする意思を明確にすることができる。
3. 「チーム学校」の一員としての自覚をもち、学校の働き方改革や教育改革課題などを理解し、それに対応する資質能力を身に付けることができる。

◆授業計画

回	項目	内容	予習・復習(標準的な所要時間)
1	「教職」の意味	オリエンテーションをかねて、そもそも「教職」とは何かを考える。	予習 これまで出会ってきた教員を想起し、どんな教員だったのか考えて置く(120分)。 復習 「教職」とは「教員という職業」であり、また教員と教師という用語の使い方について確認する(120分)。
2	教員が働く場である学校	教員が働く場である「学校」にはどんな種類があるかを把握する。	予習 教育基本法第六条に規定する「法律に定める学校」と学校教育法第一条に規定する学校について調べて置く(60分)。 復習 「学校」には誰を対象とするかによる分類以外に設置主体による分類もあることを確認しておく(180分)。
3	「チーム学校」：学校で働く人々と教員	学校は「教員」だけでなく多くの職員で構成されていること、また「教員」には職階があることを理解する。	予習 「教員(先生)」といわれる中にどんな種類があるかを考えてみる(60分) 復習 「チーム学校」の意味と意義について確認する(180分)。
4	教員の使命と役割	教育基本法第九条に規定する教員の「崇高な使命」と学校教育における役割を考察する。	予習 教育基本法第九条を読み、「崇高な使命」について自分なりの考えをまとめておく(120分)。 復習 子どもたちの成長・発達に深く関わる教員の具体的な役割を整理しておく(120分)。
5	教員の身分・職階と待遇	国公立の違いによる身分の違い、教員の職階、一般公務員との違い、そして処遇を理解する。	予習 教育公務員特例法と地方公務員法を読み、その内容を理解する(120分)。 復習 教員には校長、副校長、教頭などの職階とそれぞれの職務を整理しておく(120分)。
6	教員の職務内容	学習指導、生徒指導といった職務だけでなく校務分掌によるさまざまな職務があることを把握する。	予習 これまで出会ってきた先生たちの仕事ぶりを想起し、まとめておく(120分)。 復習 校務分掌は各学校で異なるが、共通した枠組みがあることを整理する(120分)。
7	教員に求められる資質能力	教員には「不易」の資質能力と「流行」のそれがあることを理解しつつ、GIGA スクール構想が始まって以降は ICT 活用力が求められていること把握する。	予習 採用側が求めている資質能力をあらかじめ調べ、まとめておく(120分)。 復習 学習指導や校務遂行において ICT を活用することが出来るように実際に操作してみる(120分)。
8	これまでの復習を兼ねた小テストとプレゼンテーション準備	第 7 回までの授業に関する小テストにより振り返りを行い、また、第 14 回目の授業でおこなうプレゼンテーションの準備を行う。	予習 これまでの授業を振り返り、要点を整理し、テストに備える(180分)。 復習 授業中におこなった班分けとテーマについて班ごとに意見を交換する(60分)。
9	教員の服務とコンプライアンス	教員のコンプライアンスに関する DVD を視聴した後、地方の教育公務員として特に求められる服務について理解する。	予習 地方公務員法にある服務関係条項を調べ、整理しておく(120分) 復習 子どもたちの成長・発達に関する支援を行う教員にはとくにコンプライアンス意識がもためられていることを、具体的事例を通して認識する(120分)。
10	学び続ける教員と研修体系、キャリア形成	教育基本法第九条第 2 項で示されている教員の研究と修養(=研修)について、その意義と具体的内容を考察する。	予習 教員研修制度についての概要を調べておく(120分)。 復習 教員研修の意義を再確認する(120分)。

11	教員の働き方改革（国際比較を含む）	OECD の TALIS でも指摘されている国際的にも問題視されている教員の長時間労働についての改革動向を理解する。	予習 TALIS について調べて、何が問題かを整理しておく（120 分）。 復習 文部科学省や教育委員会で示されている働き方改革を整理し、自分なりの考え方を深める（120 分）。
12	学校と地域との連携・協働における教員	地域に開かれた学校には地域との連携・協働が強く求められるようになっており、そこにおける教員には地域を意識した姿勢が求められていることを把握する。	予習 教育基本法第十三条の規定をよみ、その内容をしらべておくこと（120 分）。 復習 教員による学習指導や生徒指導においても地域の協力が色々の面で不可欠になっていることを整理する（120 分）。
13	栄養教諭と栄養職員	同じく学校給食の栄養に関する専門的事項をつかさどる職員であるが、両者には制度的に違いがあることを考察する。	予習 学校給食法を読み、とくに学校給食の栄養に関する専門的事項をつかさどる職員についての規定を調べておく（120 分）。 復習 授業中に示した両者の比較表を確認し、不明の点については質問したり、調べる（120 分）。
14	テーマごとのプレゼンテーション	授業で平行して調べ、まとめてきたテーマについてのプレゼンテーションと質疑を行う。	予習 プレゼンテーション準備（180 分）。 復習 質疑で明らかになった課題についてフォローする（60 分）。
15	教職を目指して（復習をかねて）	前回の授業までのまとめを行うとともに、栄養教諭をめざすプロセスを確認する	予習 これまでの授業について自分なりに整理しておく（120 分）。 復習 授業中に示されたまとめプリントをよく読み、何がポイントであったかの確認をする（120 分）。

◆教科書及び資料

書名	著者	発行所
『共に創り出す公教育へ』	嶺井正也・その他	八千代出版株式会社

◆参考書

書名	著者	発行所
『教職六法』2025 年度版	高見茂 他	協同出版

◆関連科目

「教育制度論」、「教育原論」、「栄養教育論 I」

◆成績評価の方法・基準

評価項目	評価比率 (%)	評価項目	評価比率 (%)
定期試験	60	小テスト	20
レポート		実技（発表・コミュニケーション）	10
学習に取り組む姿勢・意欲	10		

（補足）「学習に取り組む姿勢・意欲」は主として授業最後に書くリアクション・ペーパーの内容で確認する。

◆課題（試験やレポート等）のフィードバックの方法

- ①小テストについては次の時間に採点結果の通知と解説を行う。
- ②リアクション・ペーパーについては、次の時間にコメントする。

◆受講上の注意事項及び助言

基本的に授業中のスマートフォン使用は認めないが、調べる必要がある場合にはその都度使用について指示する。

◆オフィスアワー（新学期開始時に学務課からの掲示を確認すること）

受付時間： 水・木・金曜日の昼休み

受付場所： 4 号館 5 階教育学第 3 研究室

上記で対応できない場合：メール（minei-m@tsc-05.ac.jp）